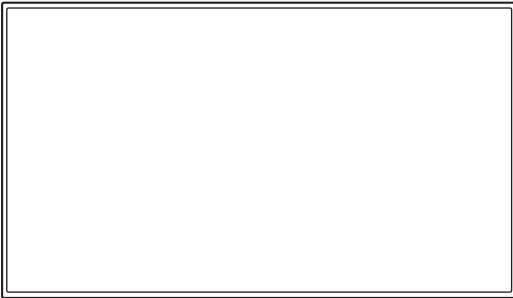


## 取扱説明書 詳細編

UHD 液晶ディスプレイ 業務用

品番	TH-86FQ1J	(86V 型)
	TH-75FQ1J	(75V 型)
	TH-65FQ1J	(65V 型)
	TH-55FQ1J	(55V 型)
	TH-50FQ1J	(50V 型)
	TH-43FQ1J	(43V 型)



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、  
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、  
取扱説明書とともに大切に保管してください。
- この取扱説明書は、TH-86FQ1J (86V 型)、TH-75FQ1J (75V 型)、  
TH-65FQ1J (65V 型)、TH-55FQ1J (55V 型)、  
TH-50FQ1J (50V 型)、TH-43FQ1J (43V 型) 共用です。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

**4K**  
PROFESSIONAL  
\*実解像度: 3840 x 2160 画素

**HE Advance™**  
Covered by patents at patentlist.accessadvance.com

**HDMI™**

# もくじ

## お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- この取扱説明書の説明イラストは、主に TH-55FQ1J (55V 型) を元に作成しています。

安全上のご注意	4
使用上のお願い	9
付属品の確認	11
付属品	11
リモコンの電池の入れかた	11
USB メモリーカバーの取り付け	12
移動するときの注意	12
ケンジントンセキュリティスロット	13
アイボルト	13
別売オプション	14
接続	15
電源コードの接続と固定、接続ケーブルの固定	15
映像機器の接続	17
接続の前に	18
HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3 端子の接続例	18
PC IN 端子の接続例	19
SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)	20
AUDIO OUT 端子の接続例	22
USB 端子の接続例	22
各部の基本説明	24
ディスプレイ	24
リモコン	25
基本の操作	26
入力信号を切り換える	27
入力信号・画面モードなどを知りたいとき	27
音量を調整する	27
消音を使う	27
映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)	28
オンスクリーンメニューについて	29
画質の調整	31
音声の調整	32
初期設定	33
言語選択	33
日付と時刻	33
タイマー設定	33
ネットワーク設定	34
HDMI-CEC 制御	36
PressIT 設定	36
EDID 選択	37
位置調整	37
スタンバイ時電力低減設定	38
パワーマネージメント	38

自動再生 (USB)	38
本体ボタンロック	38
リモコンロック	38
電源 LED	38
クイック起動	39
オンスクリーン表示	39
マルチ画面設定	39
オプション設定	40
情報	40
工場出荷設定	40
ネットワーク機能を使う	41
接続に必要なパソコン環境	41
ネットワーク接続例	41
LAN への接続設定	42
Web ブラウザーからのアクセス	42
コマンドコントロール	46
LAN 経由の制御コマンドについて	46
PJLink プロトコル	48
複数台監視制御ソフトウェアについて	49
USB メディアファイル再生機能を使う	50
再生する	51
自動再生	51
静止画の再生	52
音楽 / 動画の再生	53
HDMI-CEC 機能を使う	54
接続例	54
設定	54
データクローニングを使う	54
ディスプレイのデータを USB メモリーにコピー	54
USB メモリーのデータをディスプレイにコピー (クローニング)	55
クローニングパスワードを変更する	56
本機のソフトウェアについて	56
プリセット信号	57
修理を依頼される前に	59
保証とアフターサービス (よくお読みください)	61
仕様	62
ソフトウェアライセンス	65
商標について	66

## 大切なお知らせ

### 業務用ディスプレイ / プロジェクターテクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社ディスプレイをご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays/pass>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、 ボタンから登録をお願いします。

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

#### ■簡単なご登録だけで、様々なコンテンツをご利用いただけます

##### ・ダウンロード

ユーティリティソフトウェアや業務用ディスプレイファームウェアをダウンロードできます。

##### ・ニュースレター購読

PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。

##### ・お問い合わせ

ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

#### ■本体購入後 1 か月以内に PASS にご登録頂きますようお願いいたします。

# 安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



**警告**

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



**警告**

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグを抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。



# 警告

## 電源コードについて

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手  
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）は、根元まで確実に差し込んでください



差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コネクター左右のロックが掛かっていることを確認してください。（86V 型のみ）

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

## 警告

### ■設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- 指定の別売据置きスタンドをご使用ください。(P.14 ページ)
- 壁への取り付けには指定の別売壁掛け金具や VESA 規格準拠の壁掛け金具を必ずご使用ください。  
86/75V 型：VESA 600 × 400  
65/55/50V 型：VESA 400 × 400  
43 V 型：VESA 200 × 200  
(P.9 ページ)
- 落下防止のため、ディスプレイと壁掛け金具の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

### ■付属の単 4 乾電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### ■雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触  
禁止

### ■上に水などの液体の入った容器を置かないでください

(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの液体が入った容器)



水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

水ぬれ  
禁止

### ■ぬらしたりしないでください



火災・感電の原因となります。

水ぬれ  
禁止

### ■風呂場、シャワー室などでは使用しないでください



火災・感電の原因となります。

水場使用  
禁止

### ■不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

### ■振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

### ■裏ふた（キャビネット）を外したり、改造したりしないでください



分解  
禁止



#### 感電のおそれあり

サービスマン以外の方は、裏ふたをあげないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。

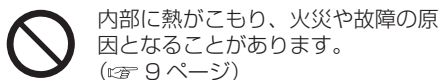
#### 「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

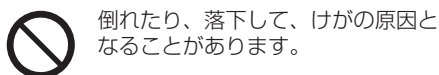
- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## 注意

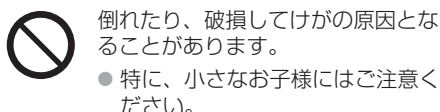
- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- あお向けにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



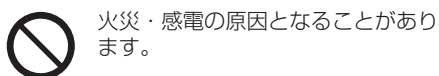
- 上に物を置かないでください



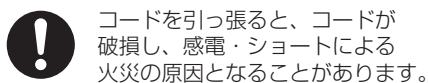
- 本機や据置きスタンドに乗ったり、ぶらさがったりしないでください



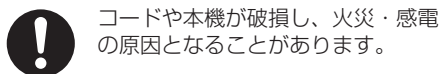
- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



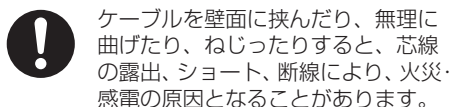
- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本体側）を持って抜いてください



- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線を外してください

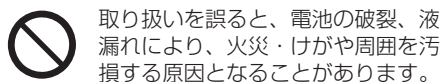


- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください

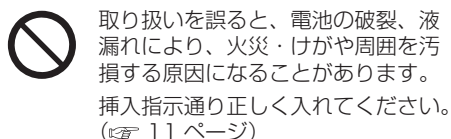


- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

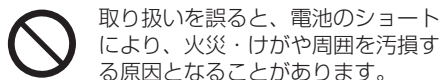
- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



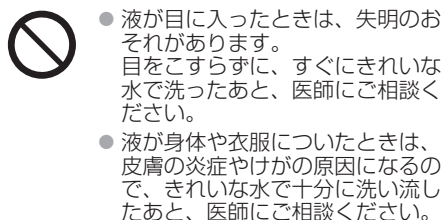
- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



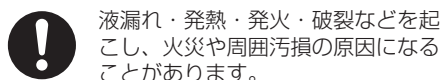
- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



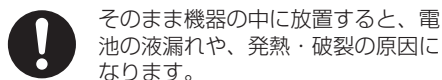
- 電池の液が漏れたときは、素手でさわらないでください



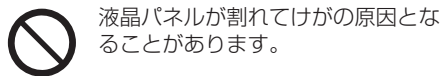
- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



- 強い力や衝撃を加えないでください



## 注意

- 長期間で使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

- 開梱や持ち運びは次の人数で行ってください

86/75V 型：4人以上

65/55/50/43V 型：2人以上



落下してけがの原因になることがあります。

- 運搬や移動をする場合は、必ず取っ手を持ち行ってください (86/75/65V 型のみ)



落下してけがの原因になることがあります。

- 本機を縦置きに設置されるときは、必ず電源ランプを上側にして設置してください



電源ランプ



異なる方向に設置すると、内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 据置きスタンドをご使用になるときは、安全のため、転倒・落下防止の処置をしてください



地震やお子様がよじ登ったりすると、転倒・落下しけがの原因となることがあります。

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

● 特に、お子様にはご注意ください。

- 塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

## お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

# 使用上のお願い

## ■設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

本機は屋内に設置してください。また、屋内であっても次のような場所への設置は避けてください。

- 風雨にさらされる場所
- 空調機の近くなど、温度・湿度の変化が激しい場所
- 振動や衝撃の加わる恐れのある場所
- スプリンクラーや感知器の近く

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

機器の接続は電源を「切」にして行ってください。

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

海拔2 800 m以上の場所に設置しないでください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。

直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- キャビネットの変形や故障の原因となります。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。

- 取り付け、使用環境温度、接続、設定には条件があります。

設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機の液晶パネル面を立てた状態で移動してください。

- 液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル内部の破損の原因となります。

液晶パネルをつかむようなことはしないでください。

- 液晶パネルを強く押ししたり、先のとがった物で押しったりしないでください。液晶パネルに強い力が加わると、画面表示にムラが生じ、故障の原因になります。

直射日光にさらされるような場所に設置しないでください。

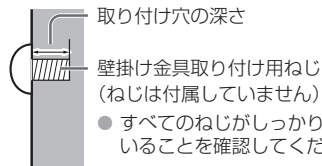
- 室内であっても直接日光が当たると液晶パネルの温度上昇により故障の原因になることがあります。

本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。

設置時の空間距離について

- 本機の動作保証温度の上限は 40℃です。ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、液晶パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が 40℃以下に維持するように適切な換気を確実に行ってください。

VESA 規格準拠の壁掛け金具を使用する場合  
使用するねじについて



(側面より見る)

	取り付けピッチ	取り付け穴の深さ	ねじ(本数)
86V型	600 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
75V型	600 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
65V型	400 mm × 400 mm	20 mm	M8 (4)
55V型	400 mm × 400 mm	18 mm	M6 (4)
50V型	400 mm × 400 mm	20 mm	M6 (4)
43V型	200 mm × 200 mm	16 mm	M6 (4)

■接続について

電源コードや接続ケーブル抜き差しについて

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

■ご使用になるとき

本機は残像が発生することがあります。

- 静止画を継続的に表示した場合や、1フレームごとに明暗の差が大きな映像を繰り返し表示した場合、残像が生じることがあります。残像は通常の動画をしばらく表示すると解消されます。

偏向サングラス使用時、画面表示が見えない場合があります。

- 液晶パネルの偏向特性による現象です。故障ではありませんのでご了承ください。

画面に赤い点、青い点または緑の点があるのは、液晶パネル特有の現象で故障ではありません。

- 液晶パネルは精密度の高い技術で作られています。画面上に常時点灯または点灯しないドットが発生する場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。

	ドット抜けの割合*
86V型	0.00009% 以下
75V型	0.00007% 以下
65V型	0.00005% 以下
55V型	
50V型	
43V型	

\* ISO9241-307 の基準に従って副画素（サブピクセル）単位で計算しています。

使用される温度・湿度条件によっては明るさのムラが発生することがありますが、故障ではありません。

- 連続通電でムラは消えていきます。消えない場合は、販売店にご相談ください。

### 液晶パネル表面について

- 液晶パネル表面に指紋や汚れがつくと、きれいな映像が見られません。傷や汚れがつかないように取り扱いにご注意ください。

### 適度の音量で隣近所への配慮を

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

### ディスプレイの一部が熱くなることがあります。

- 前面パネル、天面、背面等の一部は温度が高くなっておりませんが、性能・品質には問題ありません。

### 長時間で使用にならないときは

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

### 電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。

### ■有線 LAN について

静電気が多く発生するような場所でのディスプレイの使用は、できるだけしないでください。

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所でディスプレイを使用する場合、有線 LAN での通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、再度、有線 LAN 接続をしてください。
- まれに静電気やノイズにより LAN 接続ができなくなる場合があります。このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN 端子に接続している LAN ケーブルを覆ってください。

### ■セキュリティに関するお願い

本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

セキュリティ対策を十分に行ってください。

( 42 ページ)

- LAN 制御のパスワードを設定し、制御を実施するユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。
- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。

### ■お手入れについて

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットや液晶パネル表面の汚れは柔らかい布（綿・ネル地など）で軽くふく

- ひどい汚れや液晶パネルの表面に付着した指紋汚れなどは、水で 100 倍に薄めた中性洗剤に布をひたし、固く絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
- 水滴が内部に入ると故障の原因になります。



### （お知らせ）

- 液晶パネルの表面は特殊な加工をしています。固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷がつく原因になります。

### 化学ぞうきんのご使用について

- 液晶パネルの表面には使用しないでください。
- キャビネットにご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- キャビネットの破損や塗装がはがれる原因になります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。



### 通気孔のゴミやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

### ■廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。なお製品を分解せずに廃棄してください。

# 付属品の確認

## 付属品

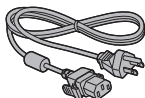
付属品が入っていることをご確認ください。  
< >は個数です。

### 電源コード< 1 >

(約 2 m)

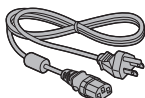
86V 型

- 1JP155AF1J



75/65/55/50/43V 型

- 1JP143CQ2J

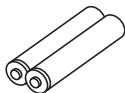


### リモコン< 1 >

- DPVF2599ZC/X1

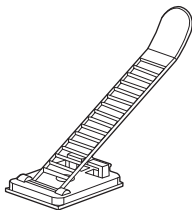


### 単 4 形乾電池< 2 > (リモコン用)



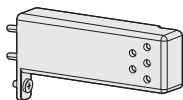
### クランパー< 2 >

- DPVF1654ZA



### USB メモリーカバー< 1 >

- DPVF4044ZA/X1

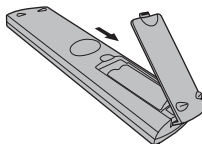


## お願い

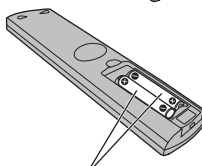
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

## リモコンの電池の入れかた

### ふたをあける



### 電池を入れ、ふたをしめる (⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

## お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

### 次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください (例えばマンガン電池とアルカリ電池など)。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。  
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

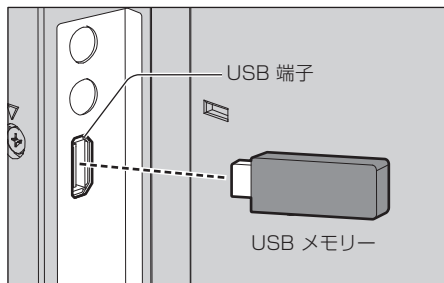
## USB メモリーカバーの取り付け

USB メモリーを使用される場合、USB メモリーを保護するために USB メモリーカバーを取り付けることができます。

### お知らせ

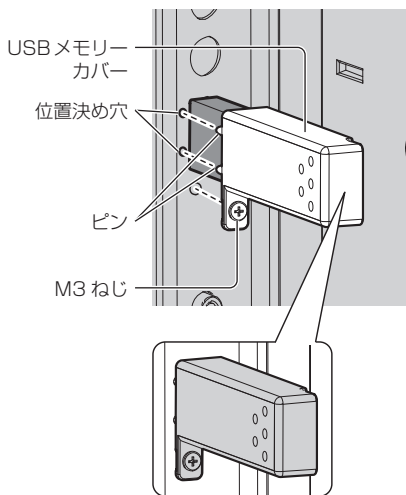
- 使用する USB メモリーの形状によっては、USB メモリーカバーを取り付けできない場合があります。

### 1 ディスプレイ側面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



### 2 ピン 2 カ所を位置決め穴に差し込み、M3 ねじをディスプレイ本体のねじ穴に合わせて USB メモリーカバーを取り付ける

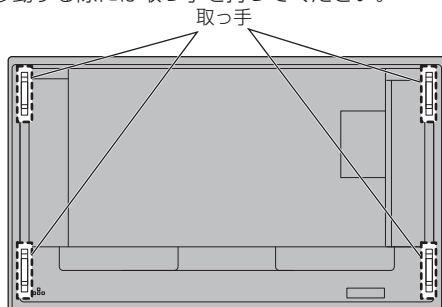
### 3 M3 ねじを締めつけて、USB メモリーカバーを固定する



## 移動するときの注意

### 86/75/65V 型

本機には、持ち運びのための取っ手があります。移動する際には取っ手を持ってください。



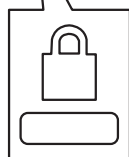
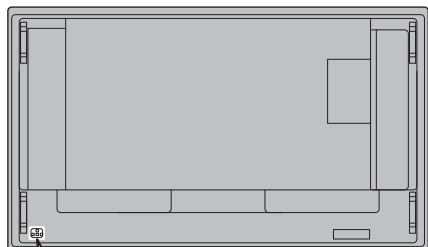
### お願い

- 取っ手以外の場所を持たないでください。(86/75/65V 型)
- 持ち運びは次の人数で行ってください。  
86/75V 型 : 4 人以上  
65/55/50/43V 型 : 2 人以上  
落下してけがの原因になることがあります。
- 移動時は液晶パネル面を立てた状態で持って移動してください。  
液晶パネル面を上または下にしての移動はパネル変形、内部破損の原因となることがあります。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部、また液晶パネル前面を手で持ったり、ぶつけたりしないでください。  
液晶パネルの故障の原因になります。  
またパネルが割れてけがの原因となる場合があります。

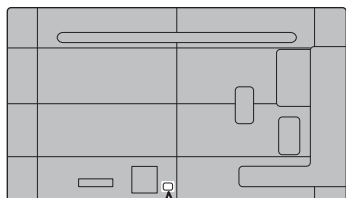
# ケンジントンセキュリティ ティースロット

本機のセキュリティスロットは、ケンジントンセキュリティケーブルと互換性があります。

## 86/75/65V 型



## 55/50/43V 型



# アイボルト 86/75V 型

本機には、アイボルト（M10）取り付け穴があります。設置の際、本機をつり上げるためにご利用ください。

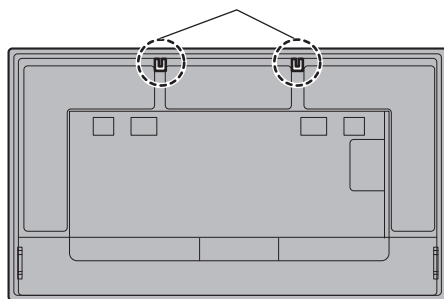
アイボルトは、設置の際の一時的なつり上げまたは移動にのみ使用してください。

常設のつり下げ設置には使用できません。

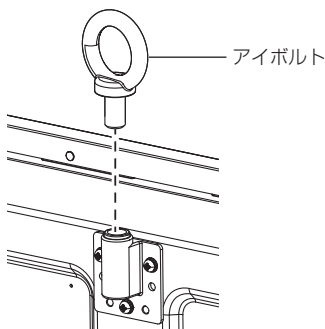
### お知らせ

- アイボルト取り付け穴は 86/75V 型にあります。65/55/50/43V 型にはありません。

アイボルト（市販品）取り付け位置



## アイボルト取り付け位置（2 ヲ所）にアイボルトを取り付ける



### お願い

- 設置工事は工事専門業者にご依頼ください。
- アイボルト 1 本でつり上げしないでください。
- アイボルトは、製品品質の負荷条件を満たす、市販の M10、首下長さ 12 mm ~ 40 mm のものをご使用ください。
- アイボルトは JIS B 1168 規格品または ISO 3266 規格品をご使用ください。その他つり上げに使用する部材（ワイヤーなど）についても、JIS または ISO 規格品をご使用ください。
- つり上げ角度は 60° 以上にしてください。

## 別売オプション

別売オプションのうち取り付けを行う壁掛け金具は、しっかりと取り付けてください。なお、取り付けについては専門業者にご依頼ください。

取り付けは次の人数で行ってください。

86/75V 型：4人以上

65/55/50/43V 型：2人以上

**据置きスタンド：**

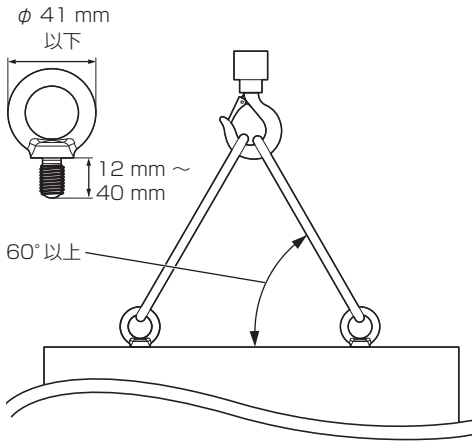
- TY-ST75PE9 (75/65V 型)
- TY-ST55PE9 (55V 型)
- TY-ST43PE9 (50/43V 型)

**壁掛け金具：**

- TY-WK98PV1 (86/75/65V 型)

### お願い

- 壁掛け金具を取り付けるときは、必ず取っ手（下側）2ヵ所を取り外してください。（86/75/65V 型）
- 据置きスタンドや壁掛け金具を取り付けるときは同梱の説明書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。また、必ず転倒防止の処置をしてください。
- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- 据え置きスタンドまたは壁掛け金具の設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 設置時、衝撃などによる「液晶パネルの割れ」が発生する場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 別売オプションの品番は、予告なく変更する場合があります。



# 接続

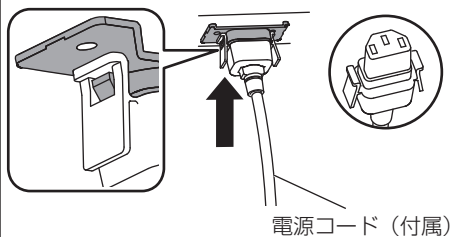
## 電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

### 86V 型

本体後面



### 電源コードの固定方法



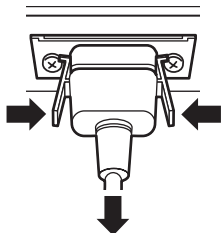
### コネクターを本体へ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。

#### お願い

- 左右のロックが掛かっていることを確認してください。

### 電源コードを外すとき



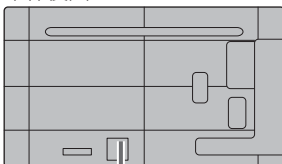
コネクター横のつまみを押しながら抜いてください

#### お願い

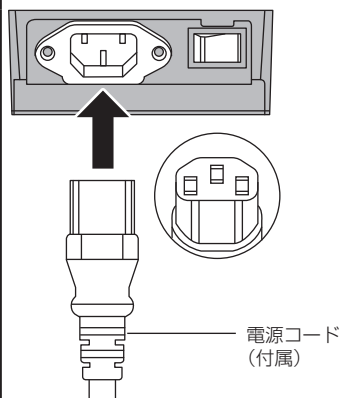
- つまみが破損している電源コードは使用しないでください。つまみが破損した状態で使用すると、電源コードのコネクターと〈AC IN〉端子との間で接触不良になるおそれがあります。電源コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

### 75/65/55/50/43V 型

本体後面



電源コードは本体背面に奥までしっかり  
差し込んでください。



#### お願い

- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

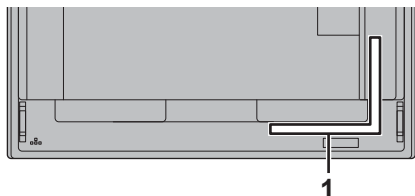
## 接続ケーブルの固定

### お願い

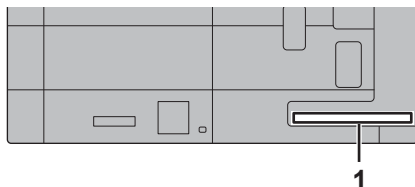
- 本機はクランパーを2本付属しています。下の図に示す位置でケーブルを固定してください。

※クランパーをご購入される場合は、お買い上げの販売店へご注文ください。(サービスルート扱い)

### 86/75/65V型



### 55/50/43V型



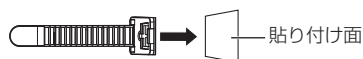
## 1 信号ケーブル用

### 1. クランパーの取り付け

#### お願い

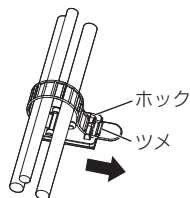
- 貼り付ける面のほこり、水、油などの汚れは拭き取り、貼り付け面にしっかり押し付けて貼ってください。
- 一度貼り付けたクランパーの再貼り付けはできませんので、貼り付け位置を十分に確認のうえ、貼り付けてください。

裏面のテープをはがし、平らな貼り付け面に貼る



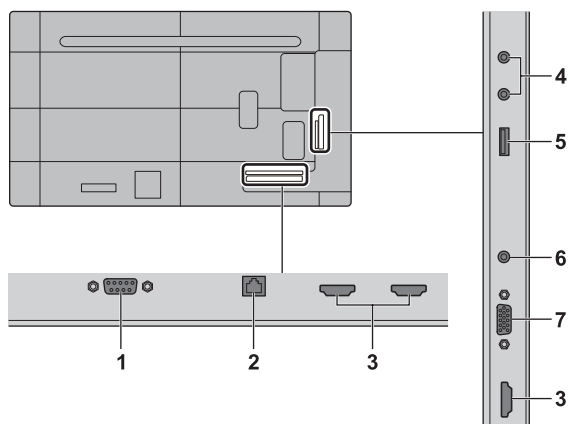
### 2. ケーブルを束ねる

バンド先端をホックに通して引っ張り、ツメにかける



### 緩め方

ツメからバンドを外し、バンド先端を引き抜く



## 1 SERIAL IN : シリアル入力端子

パソコンに接続して本機を制御します。  
([P.20](#) ページ)

## 2 LAN : LAN 端子

ネットワークに接続して本機を制御します。  
([P.41](#) ページ)

## 3 HDMI IN 1、HDMI 入力端子

**HDMI IN 2、  
HDMI IN 3 :** ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像機器を接続します。  
([P.18](#) ページ)

- 市販の HDMI 規格に適合した 4K 対応 HDMI ケーブルをご使用ください。

## 4 AUDIO OUT : アナログ音声出力端子

アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。  
([P.22](#) ページ)

## 5 USB : USB 端子

USB メモリーを接続し、USB メディアファイル再生機能、USB データクローニングなどに使用します。  
また、受像時に 5V/2A まで外部機器に電源を供給することができます。  
([P.22](#) ページ)

## 6 AUDIO IN : アナログ音声入力端子

([P.19](#) ページ)

## 7 PC IN : パソコン入力端子

パソコンの映像端子を接続します。  
([P.19](#) ページ)

## 接続の前に

- 接続の前に、本機と接続する外部機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ・ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - ・本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
  - ・ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。
- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」(57 ページ) をご覧ください。

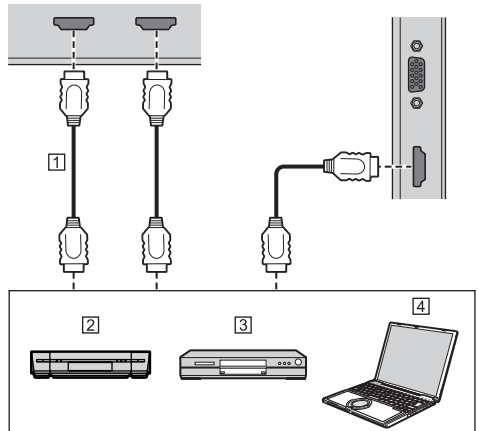
## HDMI IN 1、HDMI IN 2、HDMI IN 3 端子の接続例

### お知らせ

- 映像機器や HDMI ケーブルは本機に付属していません。
- HDMI 規格に準拠した機器を接続してください。
- 一部の HDMI 機器で映像を表示できない場合があります。
- 本機は、VIERA LINK には対応していません。

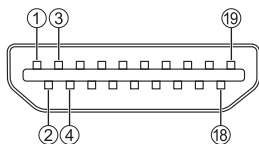
### お願い

- HDMI ケーブルは、HDMI 規格に適合している HDMI High Speed ケーブルをご使用ください。ただし、HDMI High Speed ケーブルの対応伝送速度を超える 4K 映像信号を入力する場合は、Premium HDMI ケーブルの認証を取得したものと、18 Gbps の高速伝送に対応した HDMI ケーブルをご使用ください。使用している HDMI ケーブルの対応伝送速度を超える映像信号を入力した場合、映像が途切れる、映らないなど正常に動作しないことがあります。



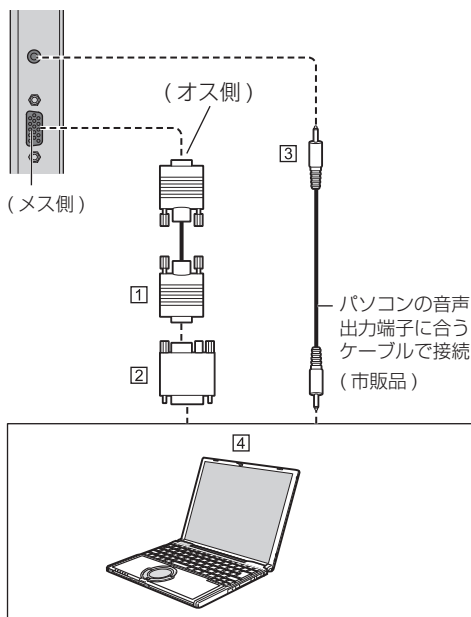
- ① HDMI ケーブル (市販品)
- ② ビデオデッキ
- ③ DVD プレーヤー
- ④ パソコン

## HDMI 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	T.M.D.S データ 2 +
②	T.M.D.S データ 2 シールド
③	T.M.D.S データ 2 -
④	T.M.D.S データ 1 +
⑤	T.M.D.S データ 1 シールド
⑥	T.M.D.S データ 1 -
⑦	T.M.D.S データ 0 +
⑧	T.M.D.S データ 0 シールド
⑨	T.M.D.S データ 0 -
⑩	T.M.D.S クロック +
⑪	T.M.D.S クロック シールド
⑫	T.M.D.S クロック -
⑬	CEC
⑭	
⑮	DDC SCL
⑯	DDC SDA
⑰	DDC/CEC グランド
⑱	+5V 電源
⑲	ホットプラグ検出

## PC IN 端子の接続例



- ① ミニ D-sub15 ピンケーブル (市販品)
- ② 変換アダプター [必要なとき] (市販品)
- ③ ステレオミニプラグ (M3) ケーブル (市販品)
- ④ パソコン

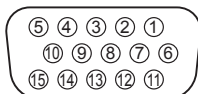
### 接続できるパソコン信号の種類

- 本機は「プリセット信号」(☞ 57 ページ) に記載のパソコン信号について、あらかじめ標準的な画面の位置やサイズなどの調整値を記憶しています。  
(対応周波数は水平：31 kHz ~ 83 kHz、垂直：56 Hz ~ 76 Hz です。)
- 対応周波数を超える信号を入力すると、正常な映像を表示できません。なお、範囲内でも一部正常な映像を表示できない場合があります。
- パソコンの画面が表示されない場合はパソコンの映像信号が「プリセット信号」(☞ 57 ページ) に該当しているか確認のうえ、設定を変更してください。ノートパソコンでは、省電力のために映像出力をオフにしている場合があります。そのときはパソコンのファンクションキーの操作などによりオンにできる場合があります。(パソコンの取扱説明書をご確認ください)

### お知らせ

- 同期信号は、HD/VD 信号入力のみに対応しています。
  - パソコンや接続ケーブルおよび変換プラグは本機に付属していません。
  - ディスプレイのプラグ・アンド・プレイ (DDC2B) に対応していないパソコンは接続時の設定が必要です。
  - D-sub15 ピン端子の機種や Mac を接続する場合には、必要に応じて市販の変換アダプターをお使いください。
- ※ パソコンのミニ D-sub15 ピン端子が、DOS/V に対応している機種は、変換アダプターは必要ありません。
- パソコン信号の水平および垂直走査周波数を指定された周波数範囲を上回るまたは下回る範囲に設定しないでください。
  - 音声は AUDIO IN 端子を利用することができます。

### パソコン入力端子 (ミニ D-sub15 ピン) のピン配列と信号名



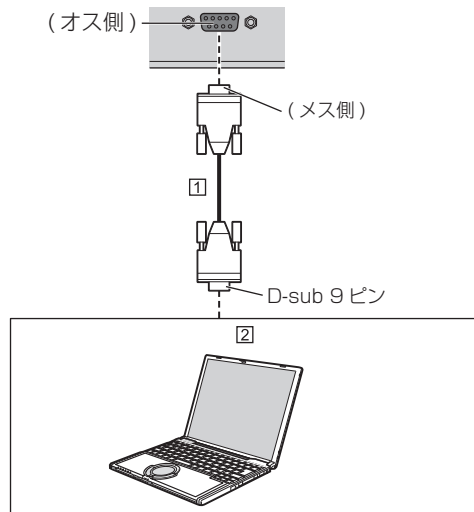
ピン No.	信号名
①	R (映像入力信号)
②	G (映像入力信号)
③	B (映像入力信号)
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	GND (映像信号 R に対するアース)
⑦	GND (映像信号 G に対するアース)
⑧	GND (映像信号 B に対するアース)
⑨	+5 V DC
⑩	GND (アース)
⑪	NC (無接続)
⑫	DDC SDA
⑬	水平シンクロ信号入力 (HD)
⑭	垂直シンクロ信号入力 (VD)
⑮	DDC SCL

### SERIAL IN (シリアル) 端子の接続例 (パソコンで制御する場合)

SERIAL (シリアル) 端子は RS-232C 準拠のため、パソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。

#### お知らせ

- パソコンや接続ケーブルは本機に付属していません。



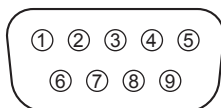
① RS-232C ストレートケーブル (市販品)

② パソコン

#### お願い

- SERIAL (シリアル) 端子とパソコンをつなぐ通信用 RS-232C ストレートケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

## SERIAL (シリアル) 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	NC (無接続)
②	受信データ
③	送信データ
④	NC (無接続)
⑤	GND (アース)
⑥	NC (無接続)
⑦	NC (無接続)
⑧	NC (無接続)
⑨	NC (無接続)

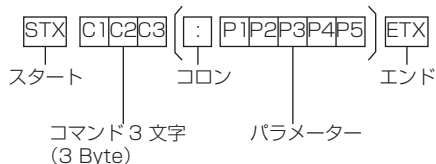
パソコン側の仕様で記載しています。

### 通信条件

信号レベル：RS-232C 準拠  
 同期方式：調歩同期 (非同期)  
 ボーレート：9 600 bps  
 パリティ：なし  
 キャラクター長：8 ビット  
 ストップビット：1 ビット  
 フロー制御：なし

### 基本フォーマット

パソコンからの伝送は STX で開始され、続いてコマンド、パラメーター、最後に ETX の順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



## コマンド一覧

コマンド	パラメーター	制御内容
PON	なし	電源「入」
POF	なし	電源「切」
AVL	***	音量 000 ~ 100
AMT	0	消音オフ
	1	消音オン
IMS	なし	入力切り換え (トグル)
	HM1	HDMI IN 1 入力 (HDMI1)
	HM2	HDMI IN 2 入力 (HDMI2)
	HM3	HDMI IN 3 入力 (HDMI3)
	PC1	PC IN 入力 (PC)
	UD1	USB 入力 (USB)
DAM	FULL	フル
	NORM	ノーマル
	NATV	リアル
	ZOOM	ズーム

### 通信間隔

返信を受け取ったら、続いてコマンドを送信できません。

コマンド応答に対してタイムアウトを設定することをおすすめします。(10 秒以上を指定してください)

複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから、次のコマンドを送信してください。

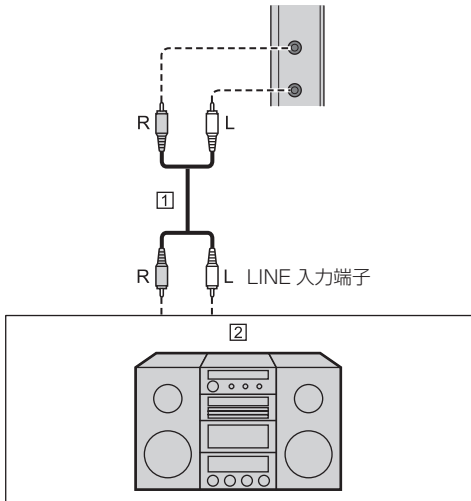
### お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から「ER401」というコマンドがパソコン側に送信されます。
- パソコンとディスプレイとの間で接続不良などが原因で通信が確立されていない場合は、何も返信されません (ER401 含む)。
- 周囲の環境からの干渉によって、コマンドを正しく受信できない場合、「ER401」が返信されることがあります。この場合、システムまたはソフトウェア側でコマンドを再送信するようにしてください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合、コロン (:) は必要ありません。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。  
 パナソニック業務用ディスプレイホームページ  
<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

## AUDIO OUT 端子の接続例

### お知らせ

- オーディオ機器や接続ケーブルは本機に付属していません。



① ステレオ音声ケーブル (市販品)

② オーディオ機器

## USB 端子の接続例

市販の USB メモリーを接続します。

### お知らせ

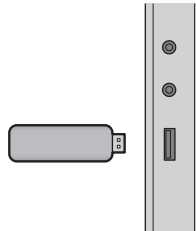
- USB メモリー以外は接続しないでください。
- USB メモリーを取り外すときは、本機の電源を切ってください。
- USB メモリー内のデータにアクセスしているときに、電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、保存されているデータが壊れることがあります。データにアクセスしている間は、USB メモリーのアクセスランプが点滅します。

### ■対応 USB メモリーについて

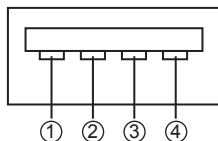
ファイルシステム	FAT32
サイズ	最大 32GB (最大ファイルサイズ 4GB)

### お知らせ

- セキュリティー機能や書き込み禁止機能がついた USB メモリーは使用できません。
- マルチパーティションには対応していません。
- USB 端子に挿入できる形状の USB メモリーを使用してください。一部の特殊な形状の USB メモリーは挿入できません。USB メモリーを無理に挿入しないでください。故障の原因になります。



## USB 端子のピン配列と信号名



ピン No.	信号名
①	+5 V DC
②	DATA -
③	DATA +
④	GND (アース)

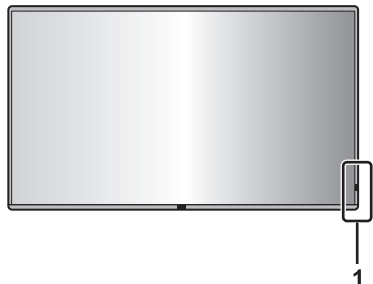
受像時に 5V/2.0A まで外部機器に電源を供給する事ができます。

### お願い

- スティック PC などのサイズにより、本機に直接接続できない場合は市販の延長ケーブルをご使用ください。
- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。
- USB メモリーを接続する際は、プラグの方向を確認して、端子を傷めないように注意してください。
- USB メモリーを取り出すときは以下の点に注意してください。
  - 接続した USB メモリーのアクセスランプが点滅しているときは、ディスプレイがデータを読み込んでいることを示します。点滅中は USB メモリーを取り出さないでください。
  - USB メモリーによっては、アクセスしていない状態でもアクセスランプが点滅したままになる場合、または、アクセスランプなどの機能がいない場合があります。その場合は、次の ① または ② の操作を確認後に USB メモリーを取り出してください。
    - ① 入力を USB 以外に切り換え、USB メモリーにアクセスする機能が終了している
    - ② 本体の電源を切る
  - USB メモリーの接続と取り出しを頻繁に繰り返すことはお止めください。接続してから少なくとも 5 秒待ってから、USB メモリーを取り出し、再び接続する場合は、少なくとも 5 秒待ってから、接続してください。ディスプレイが、USB メモリーの接続と取り出しの切り換わりを認識できるように、ある程度の時間を置く必要があります。
  - データにアクセスしている途中で誤って本機の電源を切ったり、USB メモリーを取り出したりすると、次回 USB メモリーを使用時にデータにアクセスできないことがあります。その場合は、本体の電源を切 / 入してください。

# 各部の基本説明

## ディスプレイ



### 1 電源ランプ / リモコン受信部

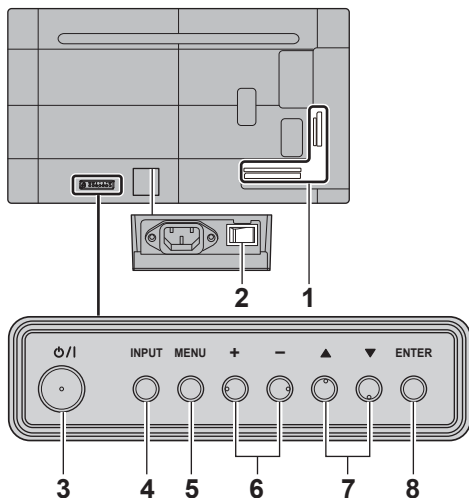
本体の電源「入」のとき(電源ボタン(φ/I)「入」)

- 映像表示状態：青色点灯
- スタンバイ状態：橙色または紫色点灯

以下のスタンバイ状態になったとき：紫色点灯

- ・「スタンバイ時電力低減設定」が「無効」時のスタンバイ状態  
「スタンバイ時電力低減設定」機能について  
([P.38](#) ページ)
- ・「パワーマネージメント」機能によるスタンバイ状態  
「パワーマネージメント」機能について  
([P.38](#) ページ)
- ・「タイマー設定」機能使用中のスタンバイ状態  
「タイマー設定」機能について ([P.33](#) ページ)
- ・「クイック起動」が「オン」の時のスタンバイ状態

上記以外のスタンバイ状態：橙色点灯



### 1 外部入出力端子

映像機器やパソコンなどを接続します。  
([P.17](#) ページ)

### 2 主電源スイッチ (φ/I)

主電源を「切 (O)」 「入 (I)」 します。  
主電源スイッチの「切」「入」は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (I)」にしてから、リモコンまたは本体の電源ボタンで電源を「切」「入」してください。

### 3 電源ボタン (φ/I)

ディスプレイ本体の主電源スイッチが「入 (I)」のとき、電源を入れたり、スタンバイにするときに使用します。

### 4 INPUT ボタン

接続された機器を選択します。( [P.27](#) ページ )  
メニュー画面で項目を決定します。

### 5 MENU ボタン

メニュー画面を表示します。( [P.29](#) ページ )

### 6 + - ボタン

音量を調整します。  
メニュー画面で設定の切り換えやレベルを調整します。( [P.27](#) ページ )

### 7 ▲ ▼ ボタン

メニュー画面で設定項目を選択します。  
( [P.29](#) ページ )

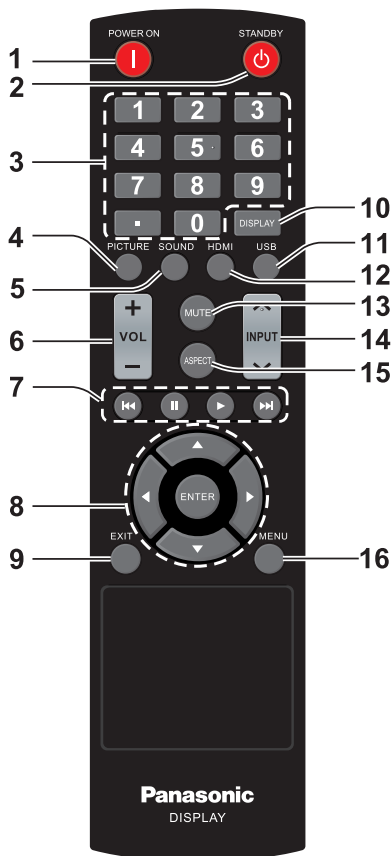
### 8 ENTER ボタン

メニュー画面で項目を決定します。( [P.29](#) ページ )

### お願い

- 本機の内蔵スピーカーから音声出力する場合は「音声の調整」メニューの「内蔵スピーカー」を必ず「有効」に設定してください。( [P.32](#) ページ )

## リモコン



### 1 POWER ON ボタン (I)

- 電源が「切」(スタンバイ)のときに「入」(受信状態)にします。

### 2 STANDBY ボタン (⏻)

- 電源が「入」のときに「切」(スタンバイ)にします。

### 3 数字 (0 ~ 9) ボタン / ·

- LAN 設定、USB データクローニングに使用します。

### 4 PICTURE

- 「映像メニュー」を設定します。  
([p.31](#))

### 5 SOUND

- 本機の音質を変更するための画面を表示します。  
<SOUND>を押すごとに、以下のように切り換えます。

トレブル → パス

### 6 VOL + / VOL -

- 音量を調節します。

### 7 ナビゲーションボタン (◀▶, ⏪, ⏩)

- USB メニューや HDMI CEC 機能の操作に使用します。

### 8 ENTER / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。  
([p.29](#))

### 9 EXIT

- メニュー画面を終了します。  
([p.29](#))

### 10 DISPLAY

- 本機の情報を表示します。  
([p.27](#))

### 11 USB

- USB 入力に切り換えます。

### 12 HDMI

- HDMI 入力に切り換えます。

### 13 MUTE

- 音声ミュートをオン / オフします。  
([p.27](#))

### 14 INPUT ▲ / ▼

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。  
([p.27](#))

### 15 ASPECT

- 画面モード (アスペクト) を選択します。  
([p.28](#))

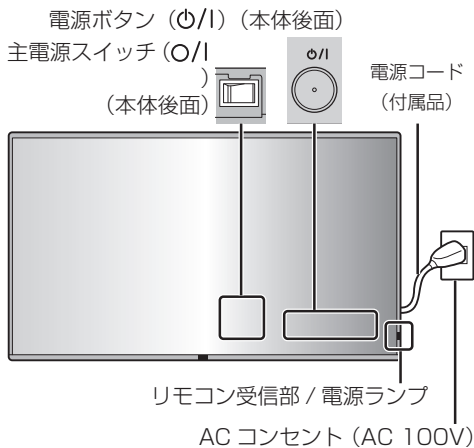
### 16 MENU

- メニュー画面を表示します。  
([p.29](#))

### お知らせ

- 本書では <INPUT> のようにリモコンや本体のボタンを <> で表しています。  
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。本体に同様のボタンがある場合は、いずれのボタンもご使用になれます。

# 基本の操作



リモコンはリモコン受信部へ向けて操作してください



## お願い

- 本体のリモコン受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンはリモコン受信部の正面あるいはリモコン受信部を見通せる方向から同部へ向けて操作してください。
- リモコンを直接本体のリモコン受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 本体のリモコン受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

1 電源コードをディスプレイに接続する  
([15 ページ](#))

2 電源プラグをコンセントへ接続する  
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

### お知らせ

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くと、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いてから電源プラグを抜くか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜いてください。

3 本体の主電源スイッチ (⓪/Ⓡ) を「入 (Ⓡ)」にする

4 本体の電源ボタン (⓪/Ⓡ) を押し  
本体の電源を「入」にする

電源ランプ：青色点灯 (受像状態)

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓡ)」のとき、電源ランプは点灯し、リモコンで操作ができます。

## ■リモコンで「切」「入」する

### 電源を入れる

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓡ)」(電源ランプ --- 橙色または紫色) でリモコンの POWER ON ボタン (Ⓡ) を押すと受像します。

電源ランプ：青色点灯 (受像状態)

### 電源を切る (スタンバイ状態)

- 本体の主電源スイッチ「入 (Ⓡ)」(電源ランプ --- 青色) でリモコンの STANDBY ボタン (⓪) を押すと電源「切」になります。

電源ランプ：橙色または紫色点灯 (スタンバイ)

本体の電源が「入」(受像状態) または「切」(スタンバイ状態) のときに本体の主電源スイッチを「切 (⓪)」にすると、ディスプレイ本体の電源が切れます。

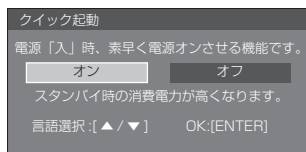
### お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがありますが故障ではありません。

## ■初めて電源を「入」にしたとき

次の画面が表示されます。

「クイック起動」を設定する場合は ◀▶ で「オン」を選択し、<ENTER> を押す



### お知らせ

- 「クイック起動」の設定画面で「オン」にカーソルを合わせると、以下のメッセージが表示されます。「スタンバイ時の消費電力が高くなります。」
- この画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。  
クイック起動 (P.39 ページ)
- ▲▼ で、表示言語を切り換えることができます。

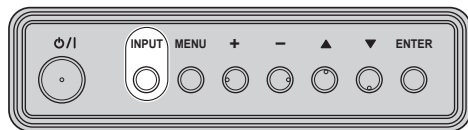
## 入力信号を切り換える

本機に入力された信号を選択します。

リモコンまたは本体の <INPUT> を押す



本体ボタン



入力
HDMI 1
HDMI 2
HDMI 3
PC
USB

HDMI 1: HDMI IN 1 端子の HDMI 入力

HDMI 2: HDMI IN 2 端子の HDMI 入力

HDMI 3: HDMI IN 3 端子の HDMI 入力

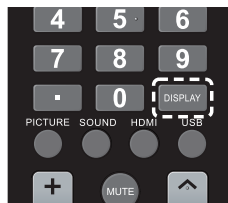
PC: PC IN 端子のパソコン入力

USB: USB 端子の USB 入力

## 入力信号・画面モードなどを知りたいとき

本機の各種情報を表示します。

<DISPLAY> を押す

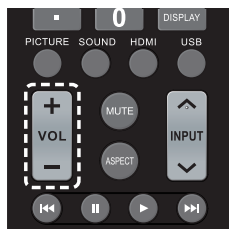


<DISPLAY> を押すたびに表示が切り換わります。

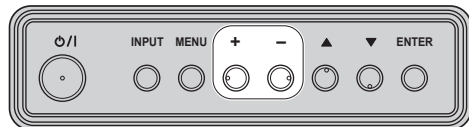
情報 1 → 情報 2 → 無表示

## 音量を調整する

リモコンの <VOL +> <VOL -> または本体の <+> <-> を押し音量を調節する



本体ボタン



- 電源を「切」にしても現在の音量を記憶しています。

## 消音を使う

一時的に音声が消えたいとき、来客や電話などの対応のとき便利です。

<MUTE> を押す

- 画面に ✕ が出て音が消えます。再度押すと解除されます。



- 電源の「切」、「入」または音量を変えても解除されません。

# 映像に合わせた拡大画面にする (ASPECT)

<ASPECT> を押すごとに切り換わります。



ノーマル → ズーム → フル → リアル

## お知らせ

- 画面モードは入力端子ごとに記憶します。

## ■画面モード一覧

画面	モード説明
ノーマル	<p>映像 → 拡大画面</p> <p>入力信号のアスペクト比のままの映像を表示します。</p>
ズーム	<p>入力信号のアスペクト比のまま、映像を画面いっぱいに表示します。映像の端が表示されないことがあります。</p>
フル	<p>映像を画面いっぱいに表示します。</p>
リアル	<p>入力信号に応じて画像を表示します。表示できる入力信号については、「プリセット信号」(P.57 ページ)を参照してください。</p>

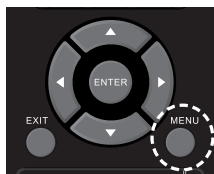
## お知らせ

- 「リアル」は解像度が3 840 x 2 160 を超える映像信号やインターレースの信号には使用できません。「ズーム」はPC 入力には使用できません。
- ディスプレイをカフェやホテルなどで営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、画面モード切り換え機能を利用して画面の縮小や拡大等を行いますと、著作権法上の権利を侵害するおそれがあります。他人の著作物は、許諾なく営利目的で視聴させたり、改変したりすることができませんのでご注意ください。
- 外部機器からの映像信号などソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、オリジナルの映像とは見えかたに差が出る場合があります。
- ワイド映像でない4:3 の映像を本機の画面モードを利用して、ディスプレイの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形したりして見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルの映像は、「ノーマル」に設定してください。
- 市販のソフトウェアを再生するとき、画面の一部(字幕など)が表示されない場合があります。この場合、本機の画面モード設定で最適な画面モードを選んでください。ソフトウェアによっては、画面の端にノイズや歪みが出る場合があります。ソフトウェアの特性によるもので、故障ではありません。
- オリジナル映像のサイズによっては、画面の端に黒い帯が出る場合があります。

# オンスクリーンメニューについて

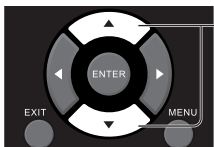
## 1 メニュー画面を表示する

リモコン

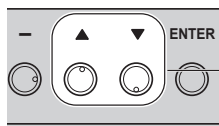


押して選ぶ

## 2 設定項目を選択する



押して選ぶ



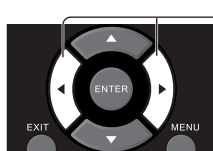
押して選ぶ

(例：画質の調整メニュー)

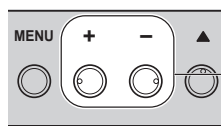


サブメニューを表示するには、<ENTER> を押してください。

## 3 設定する

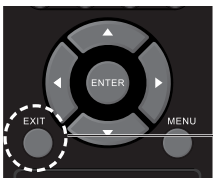


押して設定



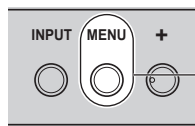
押して設定

## 4 設定を終了する



押してメニューを終了する

<MENU> を押すと 1 つ前の画面に戻ります。



押す

### お知らせ

- 本機の設定変更時、一時的に映像、音声に乱れが発生することがありますが故障ではありません。

## メニュー画面一覧

- 調整できない項目は、グレー表示になります。信号、入力、メニューの設定により調整できる項目は変わります。

### 画質の調整 (🔍 31 ページ)



### 音声の調整 (🔍 32 ページ)



### 初期設定 (🔍 33 - 40 ページ)



# 画質の調整

## 1 <MENU> を押して「画質の調整」メニュー画面を表示する



## 2 ▲▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります

## 3 ◀▶ で設定をする

## 4 <EXIT> を押して設定を終了する

### ■ 1 つ前の画面に戻るには

<MENU> を押す。

#### 映像メニュー

映像ソースや本機を使用する場所の環境に適した見やすい映像に切り換えます

##### ダイナミック：

明るい部屋に適したコントラストとシャープネスの画像になります。

##### スポーツ：

スポーツの試合に適した画像になります。

##### グラフィック：

パソコン入力に適した画像になります。

##### スタンダード：

標準的な夜間の照明での視聴に適した画像になります。

#### アドバンスド設定

映像の拡張機能の設定をします。

##### アスペクト：

画面モードを変更します。  
( 28 ページ)

##### オーバースキャン：

オーバースキャンを設定します。

##### 色温度設定：

画面の色調を調整します。

##### プリセット：

プリセットされている色温度  
(6500K/9300K/12000K/  
ネイティブ) に設定できます。

### お知らせ

- 「プリセット」の数値が小さいと赤色が強調され、大きいと青色が強調されます。
- 「ネイティブ」を選択すると液晶パネルの素の色調となります。

#### カスタム：

色温度のユーザー設定が可能です。

#### ノイズリダクション：

映像のノイズ（ざらつき感）を低減します。

### お知らせ

- HDMI の YUV 信号以外では、本メニューはグレー表示になります。

#### ダイナミックバックライト：

バックライトの輝度を最適化してコントラストを向上させ、トータル消費電力を削減します。

#### ガンマ：

ガンマカーブを選択します。

#### HDMI (RGB) 信号レンジ：

HDMI 端子の入力信号に応じてダイナミックレンジを切り換えます。

RGB 信号入力時のみ有効です。

##### ビデオ (16-235)：

入力信号がビデオレンジの場合。

##### フル (0-255)：

入力信号がフルレンジの場合。

##### オート：

入力信号に応じて自動的にダイナミックレンジを「ビデオ (16-235)」または「フル (0-255)」に切り換えます。

#### 適応コントラスト補正：

動画など変化していく映像に対して色の使い方を判断してコントラストを自動的に調整します

- 映像によっては、調整機能がスムーズに働かない場合があります。その場合は「オフ」に設定してください。

### お知らせ

- HDMI の YUV 信号以外では、本メニューはグレー表示になります。

バックライト	バックライトの明るさを調整します。 暗く ↔ 明るく
黒レベル	映像の明暗度を調整します。 暗く ↔ 明るく
ピクチャー	画面の暗い部分（黒色）を調整します。 暗く ↔ 明るく
色の濃さ	色の濃さを調整します。 淡く ↔ 濃く
色あい	肌色部分の色あいを調整します。 赤紫色がかった色に ↔ 緑色がかった色に
シャープネス	映像輪郭の鮮明度を調整します。 ソフト ↔ シャープ
初期値に戻す	各設定値を工場出荷時の設定に戻します。

## 音声の調整

### 1 <MENU> と ▶ を押して「音声の調整」メニュー画面を表示する



### 2 ▲ ▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。

### 3 ◀ ▶ で設定をする

### 4 <EXIT> を押して設定を終了する

トレブル	高音を調節します。
バス	低音を調節します。
バランス	左右の音量を調節します。
内蔵スピーカー	内蔵スピーカーを使用するかどうかを選びます。 <b>有効:</b> 内蔵スピーカーを使用します。 <b>無効:</b> 内蔵スピーカーを使用しません。
音声出力	音声出力端子から出力される音量を固定にするか可変にするかを選びます。 <b>固定:</b> 音量は可変時の音量 100 と同等に固定されます。 <b>可変:</b> リモコンの <VOL +><VOL -> または本体の <+><-> を押して音量を調節することができます。

# 初期設定

## 1 <MENU> と ▶ を押して「初期設定」メニュー画面を表示する



## 2 ▲ ▼ で設定項目を選択する

- 調整できない項目は、グレー表示になります。調整できる項目は、入力信号と設定項目により異なります。

## 3 ◀ ▶ で設定をする

## 4 <EXIT> を押して設定を終了する

### ■ 1 つ前の画面に戻るには

<MENU> を押す。

## 言語選択

ご利用の言語を選択してください。

選択できる言語

English : 英語  
Français : フランス語  
Español : スペイン語  
日本語 : 日本語

## 日付と時刻

日付と時刻を設定します。

## タイマー設定

指定した時刻・映像入力力で電源オン / 指定した時刻に電源オフのプログラムを設定します。プログラムは 7 通り設定できます。

### お知らせ

- 日付・時刻を正しく設定してください。(P.33 ページ)
- 設定されている日付・時刻が正しいか、定期的に確認してください。

「タイマー設定」サブメニュー画面

### ① タイマーを設定するプログラム番号を選んで <ENTER> を押す



### ② タイマーの詳細を設定する



### ■ タイマー機能設定

- オン : タイマー設定が有効になります。
- オフ : タイマー設定が無効になります。

### ■ 電源オン時刻

電源を「入」にする時刻を設定します。

### ■ 電源オフ時刻

電源を「切」にする時刻を設定します。

## ■繰り返しモード

「繰り返しモード」を選んで<ENTER>を押すと繰り返しモード設定画面が表示されます。

曜日を選択し、<MENU>で前の画面に戻ります。

### 繰り返しなし：

1回のみプログラムを実行します。実行後は設定が消去されます。

### 毎週日曜日～毎週土曜日：

毎週指定した曜日にプログラムを実行します。

複数の曜日を選択できます。

## ■入力

プログラムによる電源「入」時の入力を指定します。

### お知らせ

- 「電源オン時刻」または「電源オフ時刻」を設定しない場合は「-:-」（未設定）になります。
- 「電源オン時刻」と「電源オフ時刻」を同時に設定した場合、または「電源オン時刻」のみを設定した場合は、設定した時刻に電源オンされます。
- 「電源オン時刻」と「電源オフ時刻」の設定時間は同一日付の00：00～23：59です。「電源オフ時刻」は「電源オン時刻」より前の時刻に設定できません。
- 電源「入」時に有効なタイマーの電源オン時刻になった場合、「入力」で設定した入力に切り換わります。
- プログラムを複数使う場合、「電源オフ時刻」と「電源オン時刻」の間隔は1分以上あげてください。電源オフが不要な場合は「-:-」（未設定）にしてください。

## ネットワーク設定

パソコンから本機をコントロールする方法を設定します。

「ネットワーク設定」サブメニューが表示されます。



## ■SERIAL IN/LAN 選択

RS-232C またはネットワーク機能を有効にします。RC-232C 経由で本機をコントロールするときは、「SERIAL IN/LAN 選択」で「SERIAL IN」を選択してください。LAN 経由で本機をコントロールするときは「LAN」を選択してください。

### お知らせ

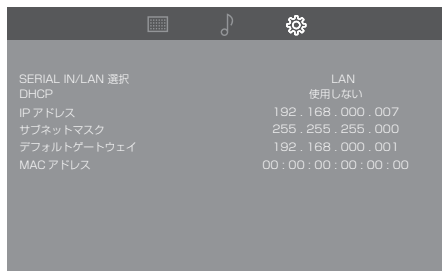
- RS-232C と LAN コントロールは同時に使用できません。
- 電源オン直後は、ネットワーク機能の準備中のため、一部の項目がグレー表示で選択できないことがあります。この場合、しばらくしてからメニューを再表示すると、正しく表示されます。ネットワーク機能の準備を短縮したい場合には、「クイック起動」を「オン」または、「スタンバイ時電力低減設定」を「無効」の設定が有効です。

## ■LAN 設定

LAN 端子を使って LAN からコントロールします。



## ネットワーク情報



## DHCP / IP アドレス / サブネットマスク / デフォルトゲートウェイ

### ① ◀ / ▶ で「DHCP」の「使用する」「使用しない」を設定する

「使用しない」を選ぶと IP アドレスなどを手動で設定できます。

#### DHCP:

- 使用する: 動的 IP アドレスを使用します。
- 使用しない: 静的 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを使用します。

#### IP アドレス:

「DHCP」が「使用しない」の場合に IP アドレスを入力します。

#### サブネットマスク:

「DHCP」が「使用しない」の場合にサブネットマスクを入力します。

#### デフォルトゲートウェイ:

「DHCP」が「使用しない」の場合にゲートウェイアドレスを入力します。

#### お知らせ

- 「DHCP」を「使用する」に設定すると IP アドレスなどはグレー表示になります。

### 数値の入力方法



1. 設定するアドレスを選んで <ENTER> を押す
2. ◀ / ▶ で桁を選ぶ。
3. ▲ / ▼ と <0 ~ 9> で数値を変更する。
4. <ENTER> を押す。

### ② 「設定」を選んで <ENTER> を押す

現在のネットワーク設定を保存します。

#### お知らせ

- DHCP サーバーを利用する場合、DHCP サーバーが立ち上がっていることを確認してください。
- IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 工場出荷時、あらかじめ下記のように設定されています。  
DHCP: 使用する

## ■ パスワード (Web)

この項目を選択すると、本機の Web ページにアクセスできるようになります。詳しくは、41 ページ「ネットワーク機能を使う」を参照してください。



## ■ PJLink 設定

PJLink 制御を行う場合に設定します。



### PJLink コントロール

PJ Link での通信を行う場合に設定します。  
オフ: PJLink での制御を無効にします。  
オン: PJLink での制御を有効にします。

### PJLink 通知

PJLink 通知を使用する場合に設定します。  
オフ: 通知を無効にします。  
オン: 通知を有効にします。

### 通知先 IP address 1、通知先 IP address 2

本機のステータスを通知するパソコンの IP アドレスを設定します。

### 設定

上記で設定したパスワードをディスプレイ本体に保存します。

#### お知らせ

- ご購入時 / 「工場出荷設定」後に、「パスワード (Web)」を設定しないと、PJLink 制御を行うことはできません。

## ■ ネットワークコントロール

本機の LAN 端子で制御する場合に設定します。

オフ：LAN 端子での制御を無効にします。(この場合、リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)の消費電力を少し低減します。)

オン：LAN 端子で LAN 制御します。リモコンで電源を「切」にしたとき(スタンバイ)、電源ランプが紫色点灯します。

## ■ コマンドポート

ネットワークコントロールで使用するポート番号を設定します。

- ・設定できる範囲は 1024 ~ 65535 です。

## ■ Crestron Connected™

### MAIN バージョン 1.500 以降、LAN バージョン 1.50 以降

この機能を「オン」に設定すると、Crestron Electronics, Inc. 製の機器やアプリケーションソフトを使用して、ネットワーク経由で本機の監視や制御を行うことができます。

#### お知らせ

- Crestron Connected は、ネットワークに接続された複数のシステムの様々な機器を、コンピュータで一括して管理・制御する Crestron Electronics, Inc. 製のシステムです。
- Crestron Connected の詳細については、Crestron Electronics, Inc. の WEB サイトをご覧ください。  
<https://www.crestron.com>

## ■ AMX D.D.

AMX デバイスディスカバリーで検知するかを設定します。

オフ：AMX デバイスディスカバリーによる検知を無効にします。

オン：AMX デバイスディスカバリーによる検知を有効にします。

- ・詳細は下記の WEB サイトを参照してください。  
<https://www.amx.com/>

#### お知らせ

- 本設定を「オン」に設定する場合、「パスワード(Web)」を設定しておく必要があります。

## ■ 初期値に戻す

ネットワークの各設定を工場出荷時の設定に戻します。

#### お知らせ

- 「初期値に戻す」を実行した後に再度ネットワーク設定を行う場合は、しばらくしてから設定を行ってください。

## HDMI-CEC 制御

HDMI-CEC 機能について設定します。

HDMI-CEC 機能について詳しくは「HDMI-CEC 機能を使う」(P.54 ページ)をご覧ください。

## ■ オン

「オン」に設定すると、本機は自動的に適切な HDMI 入力に切り換わり、HDMI 接続された機器の電源がオンになり、再生モードが選択されます。

## ■ オフ

HDMI-CEC 制御を使用しません。

#### お知らせ

- 接続している HDMI CEC 対応機器の HDMI CEC 機能を有効にしてください。

## PressIT 設定

ワイヤレスプレゼンテーションシステム

(PressIT) との接続時に設定を行うメニューです。

詳細は下記のサポートサイトの取扱説明書を参照してください。

(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays/lineup/wps2>)

「PressIT 設定」サブメニュー画面



## EDID 選択

本メニューは HDMI1、HDMI2 および HDMI3 入力時に表示されます。

HDMI 各端子の EDID のデータを切り換えます。「EDID 選択」サブメニュー画面



### ■4K/60p :

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 60Hz) に対応した EDID にします。

### ■4K/30p :

4K 映像信号 (最大 4 096 x 2 160 ドット、最大垂直操作周波数 30Hz) に対応した EDID にします。

### ■設定 :

指定した内容で設定します。設定の反映のため、再起動します。

### ■キャンセル :

指定した内容を取り消します。

### お知らせ

- 「設定」を選択した後、本機を再起動するまで、設定は反映されません。

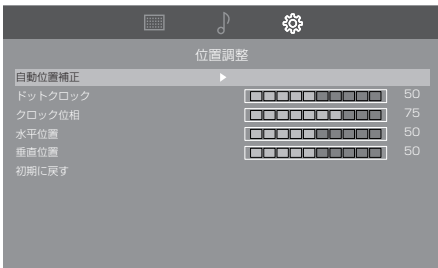
## 位置調整

画面の位置を調整します。

### お知らせ

- 調整のときに画像表示エリアの外側にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- PC 入力でのみ使用できます。

「位置調整」サブメニュー画面



## ■自動位置補正

信号入力時に「位置調整」の各項目を自動補正します。

### お知らせ

- 切り抜いた画像や暗い画像を入力して「自動位置補正」をすると調整できないことがあります。このような場合は明るく境界線などが明確な画像に切り換えてから再度、「自動位置補正」を行ってください。

## ■ドットクロック

縞模様を表示した場合に、周期的な縞模様（ノイズ）が発生したときは、ノイズが少なくなるように調整してください。

## ■クロック位相

画像のサンプリングクロックを調整します。

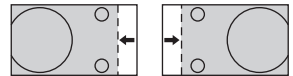
小さな文字のコントラストが低い時や、コーナーにちらつきがある場合に役立ちます。

調整パターンを使用するときは、横縞のノイズが表示されないように調整してください。

- 「ドットクロック」を正しく設定したあとに設定してください。

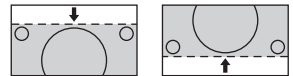
## ■水平位置

水平位置を調整します。



## ■垂直位置

垂直位置を調整します。



## ■初期に戻す

「位置調整」の項目を、工場出荷時の設定に戻します。

### お知らせ

- 調整のときに画像表示エリアの外側にノイズが出る場合がありますが、異常ではありません。
- PC 入力でのみ使用できます。
- 「自動位置補正」が適切な調整にならないときは、「初期に戻す」を行ってから「自動位置補正」を実行すると調整できることがあります。

## スタンバイ時電力低減設定

「無効」に設定すると、スタンバイ時に LAN 制御することができますが、スタンバイ時の消費電力が高くなります。

「有効」に設定すると、スタンバイ時に LAN 制御することはできませんが、スタンバイ時の消費電力を低減できます。

(シリアル制御では、設定の無効 / 有効にかかわらずスタンバイからオンにできます。)

## パワーマネージメント

HDMI および PC 入力で、映像信号が検知されなくなると電源「切」(スタンバイ)になり、映像信号が検知されると電源が「入」になる機能です。

### お知らせ

- リモコンで電源「切」(スタンバイ)にした場合、本機能は動作しません。
- 映像信号を検知できるのは、電源「入」時に映像信号が検知されなくなった入力端子のみです。  
本機能でスタンバイ状態になると電源ランプは紫色点灯します。

例：HDMI1 入力で、映像信号が検知されないとき：  
電源「切」(スタンバイ) / 電源ランプ：紫色点灯  
その後 HDMI1 入力に映像信号が検知されるとき：  
電源「入」 / 電源ランプ：青色点灯

## 自動再生 (USB)

USB メモリーの中にあるファイルのうち、自動再生するファイルの種類を設定します。

### 無効

USB の自動再生をしません。


### 静止画

USB メモリーにある静止画のファイルを自動で再生します。(jpg ファイルのみ)

### 動画

USB メモリーにある動画のファイルを自動で再生します。(mp4 ファイルのみ)

### お知らせ

- 静止画と動画は同時に自動再生できません。  
( 51 ページ)

## 本体ボタンロック

本体のボタン操作を制限します。

### ロックしない

すべての本体のボタンを操作できます。


### すべてロック

すべての本体のボタンを操作できません。






### 音量以外をロック

< + > と < - > 以外の本体のボタンを操作できないようにします。

### 電源以外をロック

< 電源ボタン (  / | ) > 以外の本体のボタンを操作できないようにします。

### 本体ボタンロックを解除するには

- < 再生 (  ) > を長押しすると「L」が画面左上に表示されます。「L」が消える前に    の順で、カーソルボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いておき、本体の電源ボタン (  / | ) を押しながら、電源プラグを接続して起動することでも同様に解除できます。

## リモコンロック

リモコンのボタン操作を制限します。

### ロックしない

すべてのリモコンのボタンを操作できます。


### すべてロック

すべてのリモコンのボタンを操作できません。






### 音量以外をロック

< VOL + > と < VOL - > 以外のリモコンのボタンを操作できないようにします。

### 電源以外をロック

< POWER ON ( | ) > と < STANDBY (  ) > 以外のリモコンのボタンを操作できないようにします。

### リモコンロックを解除するには

- < 再生 (  ) > を長押しすると「L」が画面左上に表示されます。「L」が消える前に    の順で、カーソルボタンを押してください。
- 電源プラグをコンセントから抜いておき、本体の電源ボタン (  / | ) を押しながら、電源プラグを接続して起動することでも同様に解除できます。

## 電源 LED

電源ランプの点灯 / 非点灯を切り換えます。

## クイック起動

電源「入」時、素早く電源オンさせる機能です。

### ■オン

電源「入」時に素早く電源オンします。

### ■オフ

電源「入」時に通常通り電源オンします。

#### お知らせ

- 本設定が「オン」の場合、スタンバイ時の消費電力が高くなります。

## オンスクリーン表示

### MAIN バージョン 1.500 以降

電源オン表示、入力切り換え表示、無信号表示を行わなくすることができます。

オン：表示にします。

オフ：非表示にします。

## マルチ画面設定

### MAIN バージョン 1.500 以降

画面の表示モードを設定します。

#### お知らせ

- 入力を USB 以外に設定して使用してください。

## 1. マルチ画面の設定

### ■マルチスクリーン表示

オン：拡大分割画面にする。

オフ：拡大分割画面にしない。

#### お知らせ

- 本設定が「オン」の場合、画面モード（アスペクト）は使用できません。

## 2. マルチスクリーン表示

横方向に 1～5 台と縦方向に 1～5 台を並べたディスプレイを 1 つのグループとして、拡大した映像を映します。

「マルチ画面設定」サブメニュー画面

(マルチスクリーン表示)



### ■横拡大率

マルチスクリーン表示の横方向の拡大率を設定します。

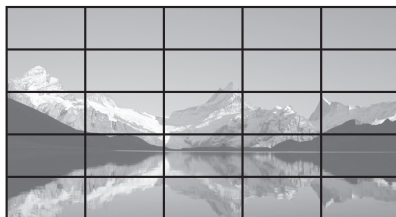
1～5

### ■縦拡大率

マルチスクリーン表示の縦方向の拡大率を設定します。

1～5

例) 横拡大率「5」と縦拡大率「5」に設定のマルチスクリーン表示画面



### ■横方向目地設定 / 縦方向目地設定

目地部分に隠れる映像の領域を、縦方向と横方向でそれぞれ調整します。

0～100

表示例)

設定値 0



目地部分を含むすべての映像を表示します。(パソコンなどで文字情報を表示する場合に適しています)

設定値 100



目地部分の映像を表示しません。(動画など動きのある映像を表示する場合に適しています)

## ■ 拡大位置

マルチスクリーンの画面位置を割り当てます。

例) 横拡大率「5」、縦拡大率「5」の場合

A1	A2	A3	A4	A5
B1	B2	B3	B4	B5
C1	C2	C3	C4	C5
D1	D2	D3	D4	D5
E1	E2	E3	E4	E5

A1 ~ E5 から選ぶ。

- 「横拡大率」「縦拡大率」の設定により、設定の表示内容は変わります。

## オプション設定

### MAIN バージョン 1.500 以降

「オプション設定」サブメニュー画面



## ■ クローニングパスワード

クローニング機能のパスワードを設定します。

詳しい設定方法については、「クローニングパスワードを変更する」(☞ 56 ページ) をご覧ください。

## ■ USB データクローニング

1 台のディスプレイのデータを複数台のディスプレイにコピーします。詳しい設定方法については「データクローニングを使う」(☞ 54 ページ) をご覧ください。

## ■ ログ出力

USB メモリーにサービス用ログを保存します。

## 情報

本機の情報を表示します。

## 工場出荷設定

工場出荷時の設定に戻します。

# ネットワーク機能を使う

本機はネットワーク機能を備えており、ネットワークに接続されたディスプレイをパソコンで制御することができます。

## 接続に必要なパソコン環境

はじめに、お使いのパソコンに LAN 機能が装備されているかどうかご確認ください。

ディスプレイとパソコンを接続する前に、必ず以下の設定をご確認ください。

### チェック 1: LAN ケーブルについて

- ・ ケーブルを正しく接続してください。
- ・ LAN ケーブルは、カテゴリ 5e 以上に対応したものを使用してください。

### チェック 2: 有線 LAN の設定

#### 有線 LAN 機能が内蔵されているパソコン

- ・ 有線 LAN を有効にしてください。

#### 有線 LAN 機能が内蔵されていないパソコン

- ・ 有線 LAN アダプターが正しく認識され、有効になっていることを確認してください。

- ・ 事前に有線 LAN アダプターのドライバーをインストールしてください。

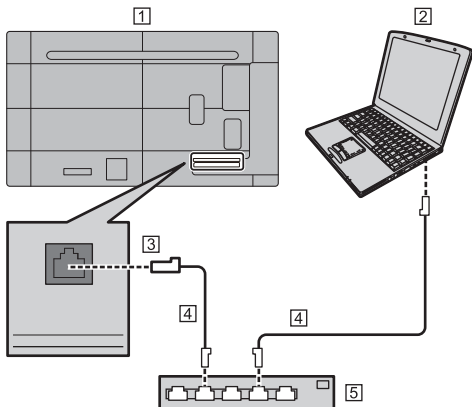
ドライバーのインストール方法は、有線 LAN アダプターの取扱説明書を参照してください。

## ネットワーク接続例

### お知らせ

- 「スタンバイ時電力低減設定」を「有効」にすると、スタンバイ状態から本機の電源をオンにはできません。
- ネットワーク機能をご利用になる場合は、「ネットワーク設定」の各設定を行い、「LAN」を選択していることを確認してください。(P.34 ページ)
- RC-232C と LAN コントロールは同時に使用できません。
- 電源オン直後は、ネットワーク機能の準備中のため、ネットワーク設定の一部の項目がグレー表示で選択できなかったり、情報 2 のネットワーク情報が正しく表示されなかったりすることがあります。しばらくしてからメニューを再表示すると、正しく表示されます。

## ■ LAN 端子接続



- ① ディスプレイ（本体後面）
- ② パソコン
- ③ LAN 端子
- ④ LAN ケーブル（市販品）
- ⑤ ハブまたはブロードバンドルーター

### お知らせ

- LAN ケーブルにはシールドケーブルをご使用ください。シールドケーブルをご使用にならない場合、映像にノイズが発生することがあります。
- ブロードバンドルーターやハブは、10BASE-T/100BASE-TX に対応していることをご確認ください。
- 静電気を帯びた手（体）で LAN 端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN 端子および LAN ケーブルの金属部に触れないようにしてください。

## LAN への接続設定

### 重要

LAN 経由で制御するときのネットワーク環境は、外部ネットワークから物理的に隔離するか、ファイアウォールを使って知らない機器からの不正な接続や制御をされないようにする必要があります。

設定は、LAN の構成によって異なります。

接続の方法については、ネットワーク管理者にご相談ください。

### 本機の設定をする

「初期設定」メニューにある「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」を「LAN」に設定し、「LAN 設定」の詳細を設定してください。(P. 34 ページ)

各項目の設定が終わったら、「設定」を選んで <ENTER> を押してください。

### ■ネットワーク情報

LAN の設定情報が表示されます。(P. 34 ページ)

## Web ブラウザーからのアクセス

LAN 制御を行う場合は、ご購入後初めてまたは、「工場出荷設定」後に、ネットワーク接続してパソコンのブラウザーで本機の Web ページを表示させてパスワード設定を必ず行う必要があります。

Web ページでの設定は、「ネットワーク設定」-「LAN 設定」で「パスワード (Web)」を選択してから 3 分間有効です。

有効期間が過ぎた場合は接続が切断され、Web ページでの設定や表示内容の更新ができなくなります。再度接続するためには改めて「パスワード (Web)」を選択してください。

### ■Web ページへのアクセス

Web ページへアクセスするには、ユーザー名とパスワードが必要です。

ユーザー名 : dispadmin (固定)

パスワードの初期値 : @Panasonic

このパスワードについても、ご購入後初めて、または「工場出荷設定」後に設定する必要があります。

## 1 本機およびパソコンをネットワークに接続する

(P. 41 ページ)

## 2 「ネットワーク設定」-「LAN 設定」で「パスワード (Web)」を選択する

(P. 35 ページ)

## 3 パソコンで、WEB ブラウザーを起動する

## 4 本機の「LAN 設定」で設定した IP アドレスを Web ブラウザーのアドレスバーに入力する

## 5 認証画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力する

このサイトにアクセスするにはサインインしてください

https://では認証が必要となります

ユーザー名

パスワード

### お知らせ

- 本機の Web ページにアクセスする際に、ブラウザーに「接続がプライベートではありません。」のような画面が表示される場合があります。その場合、画面下部の「詳細設定」をクリックし、「\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\* (本機に設定した IP アドレス) にアクセスする」をクリックしてください。
- ご使用になる Web ブラウザーにより表示動作が変わる場合があります。

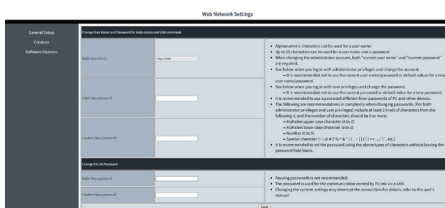
### MAIN バージョン 1.500 以降

- Web ページにアクセスするためのパスワードが設定されている場合は、「ネットワーク設定」-「LAN 設定」で「パスワード (Web)」を選択せずにアクセスできます。

## 6 パスワードを設定する

### お知らせ

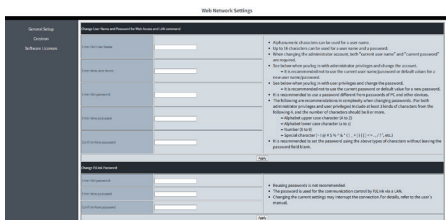
- パスワード設定ページが表示されるので、本 Web ページにアクセスするためのパスワード設定 (確認用に同一のものを 2 回入力) を行ってください。PJLink パスワードも合わせて設定できます。設定しない場合、PJLink パスワードは無しになります。



## ■ Web ページにおけるネットワーク設定

パソコンと本機をネットワークに接続してブラウザで設定をします。

それぞれ現在の設定値を入力してから、新しい値の設定（パスワードは確認用に同一のものを2回入力）を行ってください。



### お知らせ

- Web ページは英語表示のみです。

## Web ページへのアクセス制限のパスワードについて

Web ページへのアクセス制限のためにパスワードを使用します。

最初にパスワードを変更してください。

- 「工場出荷時設定」を実行した時は、パスワードは初期値に戻ります。
- パスワードに使用できる文字数は、8 文字以上 16 文字以下です。
- パスワード変更の推奨は、以下の通りです。  
下記の 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含める。
  - 1) アルファベット大文字 (A - Z)
  - 2) アルファベット小文字 (a - z)
  - 3) 数字 (0 - 9)
  - 4) 特殊文字 (!@#\$%&\*()\_+{| }[] <>./?)

## PJLink セキュリティー認証のパスワードについて

PJLink セキュリティー認証のためにパスワードを使用します。

最初にパスワードを変更してください。

- 「工場出荷時設定」を実行した時は、パスワードは初期値に戻ります。
- パスワードに使用できる文字数は、32 文字以内です。  
パスワード変更の推奨は、以下の通りです。  
下記の 4 つの文字種類から少なくとも 3 つを含めて、8 文字以上。
  - 1) アルファベット大文字 (A - Z)
  - 2) アルファベット小文字 (a - z)
  - 3) 数字 (0 - 9)
  - 4) 特殊文字 (!@#\$%&\*()\_+{| }[] <>./?)
- 認証なしで使用する時は、パスワードはなし（空欄）にします。

### お知らせ

- 変更後のパスワードに、現在のパスワードと同じ値、または出荷時の設定と同じ値にしないことを推奨します。
- PJLink に関する仕様については、(社) ビジネス機械・情報システム産業協会の WEB サイトを参照してください。  
URL <https://pjlink.jbmia.or.jp/>
- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社および関連会社が、お客様へ直接パスワードを照会することはありません。  
直接問い合わせがありましても、お答えにならないでください。

## Web secure setting

Web 制御画面にアクセスする際に、コンピューターと本機との間での通信方式を設定します。

HTTPS :

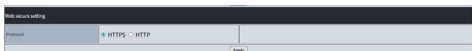
SSL/TLS プロトコルによって暗号化された HTTPS (Hypertext Transfer Protocol Secure) を使用します。

HTTP :

http 通信を使用します。

### お知らせ

- 本設定を [HTTPS] に設定した状態で http のアドレスへアクセスした場合、自動で https のアドレスへリダイレクトされます。
- 本設定を [HTTPS] から [HTTP] に変更すると、Web 制御画面の操作や更新を行ったときに画面が表示されないことがあります。その場合は、Web ブラウザーのキャッシュを削除してください。



## Command Protect

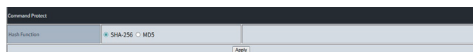
制御コマンドを送る際の暗号化アルゴリズムを設定します。

SHA-256 : SHA-256 アルゴリズムを使用します。

MD5 : MD5 アルゴリズムを使用します。

### お知らせ

- Command Protect の設定には、ご使用のコマンドコントロールツールなどで利用している暗号化通信のハッシュアルゴリズムに適合するものを選択してください。
- MD5 を使用した暗号化は解読されるおそれがあるため、[Command Protect] を [SHA-256] に設定し、より高いセキュリティーレベルを持つ SHA-256 を用いた暗号化通信の利用をお勧めします。



## LAN setup

DNS サーバーを設定します。

## Software Licenses

クリックすると、本機で使用しているオープンソースソフトウェアのライセンスを表示します。

### ■ Crestron Connected の設定

#### MAIN バージョン 1.500 以降、LAN バージョン 1.50 以降

Crestron 社のシステムをディスプレイに接続するために必要な情報、および Crestron 社のシステムを用いてディスプレイを監視 / 制御するための情報を設定します。

[ネットワーク設定] の [Crestron Connected™] を [オン] に設定して、使用してください。

## Crestron Settings

### コントロールシステムを使用する場合

A screenshot of the 'Crestron Settings' configuration window. It includes the following fields and options:

- Host Type: Radio buttons for 'Control System' (selected) and 'VC-4'.
- Use Secure Connection: Checked checkbox.
- Verify Certificate: Checked checkbox.
- IP Address: Text input field.
- Room ID: Text input field.
- IPID: Text input field.
- Port: Text input field with '41796' pre-filled.
- User Name: Text input field.
- User Password: Text input field.
- Certificate: A section with an 'Upload file' button, a file selection area (showing 'Please click on a certificate'), and 'Upload' and 'Clear' buttons.
- An 'Apply' button at the bottom.

Host Type : [Control System] を選択します。

Use Secure Connection : セキュア通信を使用する場合に有効にします。

Verify Certificate : セキュア通信に証明書の認証を使用する場合に有効にします。

IP Address : 接続先の IP アドレスを入力します。

Room ID : 入力しません。

IPID : ネットワーク上でデバイスを識別するための IP ID を入力します。

Port : ポート番号を表示します。  
(非セキュア通信) 41794、  
(セキュア通信) 41796

User Name : 接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

User Password : 接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

Certificate : セキュア通信に証明書の認証を使用する場合に設定します。[Upload file] をクリックして証明書を選択後、[Upload] をクリックしてアップロードします。

Apply : 設定を更新します。

## VC-4 ソフトウェアコントロールプラットフォームを使用する場合

**Crestron Settings**

Host Type  Control System  VC-4

Use Secure Connection

Verify Certificate

IP Address

Room ID

IPID

Port

User Name

User Password

Upload file

Certificate

Please click on a certificate

Host Type : [VC-4] を選択します。

Use Secure Connection : セキュア通信を使用する場合に有効にします。

Verify Certificate : セキュア通信に証明書の認証を使用する場合に有効にします。

IP Address : 接続先の IP アドレスを入力します。

Room ID : ネットワーク上でデバイスを識別するための ROOM ID を入力します。

IPID : ネットワーク上でデバイスを識別するための IP ID を入力します。

Port : ポート番号を表示します。  
(非セキュア通信) 41794、  
(セキュア通信) 41796

User Name : 接続認証時に使用するユーザー名を入力します。(半角で 20 文字まで)

User Password : 接続認証時に使用するパスワードを入力します。(半角で 20 文字まで)

Certificate : セキュア通信に証明書の認証を使用する場合に設定します。[Upload file] をクリックして証明書を選択後、[Upload] をクリックしてアップロードします。

Apply : 設定を更新します。

## Auto Discovery

検索プロトコルに対する待ち受け処理について設定を行います。

**Auto Discovery**

Auto Discovery  Disable  Enable

Auto Discovery : Auto Discovery を使用する場合は [Enable] にします。

Apply : 設定を更新します。

## XiO Cloud

XiO Cloud を利用して機器を管理する場合の設定を行います。

**XiO Cloud**

XiO Cloud  Disable  Enable

MAC Address

Serial Number

XiO Cloud : XiO Cloud を使用する場合は [Enable] にします。

MAC Address : MAC Address が表示されます。

Serial Number : Serial Number が表示されます。

Apply : 設定を更新します。

## Proxy

プロキシサーバーの設定を行います。

**Proxy**

Proxy  Disable  Enable

Proxy Server Name

Proxy Server Port No.

Proxy : プロキシサーバーを使用する場合は [Enable] にします。

Proxy Server Name : プロキシサーバー名または IPv4 アドレスを入力します。

Proxy Server Port No. : プロキシサーバーのポート番号を入力します。

Apply : 設定を更新します。

## コマンドコントロール

本機のネットワーク機能は、ネットワークからシリアル制御と同等に本機を制御することができます。

### 対応コマンド

シリアル制御で使用しているコマンドに対応しています。(☞ 21 ページ)

## LAN 経由の制御コマンドについて

### 接続方法

1 ディスプレイの IP アドレスとポート番号（初期設定値 = 1024）を取得してディスプレイへ接続を要求してください。

- IP アドレスとポート番号は次のメニューから取得できます。

IP アドレス：[初期設定] → [ネットワーク設定] → [LAN 設定]

ポート番号：[初期設定] → [ネットワーク設定] → [コマンドポート]

※詳しい設定方法については、34 ページをご覧ください。

2 ディスプレイからの応答を確認してください。

	データ部	空白	モード	空白	乱数部	終端記号
コマンド例	"NTCONTROL" (ASCII 文字列)	" " 0x20	"1" 0x31	" " 0x20	"zzzzzzzz" (ASCII コード 16 進数)	(CR) 0x0d
データ長	9 bytes	1 byte	1 byte	1 byte	8 bytes	1 byte

- モード：1 = [Command Protect] を [MD5] に設定したプロテクトモード
- モード：2 = [Command Protect] を [SHA-256] に設定したプロテクトモード
- 例) プロテクトモード（モード：1）時の応答（乱数部は不定値）  
"NTCONTROL 1 23181e1e" (CR)

3 MD5 または SHA-256 のハッシュアルゴリズムを用いて、以下のデータから 32 バイト（MD5 の場合）または 64 バイト（SHA-256 の場合）のハッシュ値を生成してください。

- "xxxxxx:yyyyy:zzzzzzzz"

xxxxxx	Web ページにアクセスするためのユーザー名
yyyyy	Web ページにアクセスするためのパスワード
zzzzzzzz	手順 2 で取得した 8 バイトの乱数

## コマンド送信方法

以下のコマンド形式にて送信してください。

送信データ

	ヘッダー			データ部	終端記号
コマンド例	ハッシュ値 (「接続方法」(P.46 ページ) 参照)	"0" 0x30	"0" 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
データ長	32 bytes または 64 bytes	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

・例) 電源「入」コマンドの送信

"dbdd2dabd3d4d68c5dd970ec0c29fa6400PON" (CR)

受信データ

	ヘッダー		データ部	終端記号
コマンド例	"0" 0x30	"0" 0x30	制御コマンド (ASCII 文字列)	(CR) 0x0d
データ長	1 byte	1 byte	不定長	1 byte

・例) 電源「入」コマンドが正常に動作した場合

"00PON" (CR)

エラー応答

	文字列	内容	終端記号
メッセージ	"ERR1"	未定義の制御コマンド	(CR) 0x0d
	"ERR2"	パラメーター範囲外	
	"ERR3"	ビジー状態または受け付け不可期間	
	"ERR4"	タイムアウトまたは受け付け不可期間	
	"ERR5"	データ長不正	
	"ERRA"	パスワード不一致	
データ長	4 bytes	—	1 byte

### お知らせ

- いくつかのコマンドでは受信データに送信データの文字列の一部が含まれないものがあります。
- コマンドの詳細については販売店にご相談ください。または、以下のサポートサイトをご参照ください。  
パナソニック業務用ディスプレイホームページ (<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>)

## PJLink プロトコル

本機のネットワーク機能は PJLink クラス 2 に対応しており、PJLink プロトコルを使用してパソコンから下記のような操作ができます。

- ディスプレイの設定
- ディスプレイの状態問い合わせ

### お知らせ

- 本機は、PJLink 仕様書 Version 2.10 に準拠しています。通信のセキュリティレベルを高めるために、SHA-256 ハッシュアルゴリズムを用いた暗号化通信の利用をお勧めします。

### 対応コマンド

PJLink プロトコルで本機を制御する際のコマンドは下表の通りです。

クラス	コマンド	制御内容
1	POWR	電源制御 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1	POWR?	電源状態問い合わせ 0: スタンバイ 1: 電源「入」
1,2	INPT	入力切り換え ※ コマンド INST? のパラメーターを参照。
1,2	INPT?	入力切り換え問い合わせ ※ コマンド INST? のパラメーターを参照。
1	AVMT	シャッター制御 10: 映像オン (映像ミュート解除) 11: 映像オフ (映像ミュート) 20: 音声オン (音声ミュート解除) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	AVMT?	シャッター制御問い合わせ 11: 映像オフ (映像ミュート) 21: 音声オフ (音声ミュート) 30: シャッターモードオフ (映像ミュート、音声ミュート解除) 31: シャッターモードオン (映像ミュート、音声ミュート)
1	ERST?	エラー状態問い合わせ “000000” と応答します。

クラス	コマンド	制御内容
1,2	INST?	入力切り換え一覧問い合わせ 11: PC IN 入力 (PC) 31: HDMI IN 1 入力 (HDMI1) 32: HDMI IN 2 入力 (HDMI2) 33: HDMI IN 3 入力 (HDMI3) 41: USB 入力 (USB)
1	NAME?	ディスプレイ名問い合わせ “55FQ1J” と応答します。 (55V 型 FQ1 の場合)
1	INF1?	メーカー名問い合わせ “Panasonic” と応答します。
1	INF2?	機種名問い合わせ “55FQ1J” と応答します。 (55V 型 FQ1 の場合)
1	INFO?	その他情報問い合わせ バージョン番号を応答します。
1	CLSS?	クラス情報問い合わせ “2” と応答します。
2	SNUM?	シリアル番号問い合わせ シリアル番号を応答します。
2	SVER?	ソフトウェアバージョン問い合わせ バージョン番号を応答します。
2	INNM?	入力端子名称問い合わせ 入力端子名称を応答します。 11: PC 31: HDMI1 32: HDMI2 33: HDMI3 41: USB
2	IRES?	入力信号解像度問い合わせ 入力信号解像度を応答します。
2	RRES?	推奨解像度問い合わせ 推奨解像度を応答します。
2	SVOL	スピーカー音量 0: 音を小さくします。 1: 音を大きくします。
2	LKUP	リンクアップ通知 PJLink の通信が可能になったときに、MAC アドレスを通知します。
2	POWR	電源状態変更通知 電源状態が変化したときに状態を通知します。 0: スタンバイ 1: 電源「入」
2	INPT	入力変更通知 入力に変化したときに切り換え後の入力を通知します。 ※コマンド INST? のパラメーターを参照。

## お知らせ

- 通信時のエラー応答は下表を参照してください。

エラーメッセージ	
"ERR1"	未定義の制御コマンド
"ERR2"	パラメーター範囲外
"ERR3"	ビジー状態または受付不可期間
"ERR4"	ディスプレイ異常


## 複数台監視制御ソフトウェアについて

本機は、イントラネット内にある機材（プロジェクターやディスプレイ）に対して、監視および制御を行う「複数台監視制御ソフトウェア」(Multi Monitoring & Control Software) に対応しています。

- ・ 詳細は下記のWEBサイトを参照してください。  
(<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/prodisplays>)

# USB メディアファイル再生機能を使う

USB メモリー内に保存された静止画や音楽、動画を表示する機能です。静止画を表示しながら音楽の再生もできます。

USB メモリーについて (  22 ページ)

## ■サポートするフォーマット

本機のメディアファイル再生機能は以下の形式をサポートしています。USB メモリーのルート直下に保存します。

### 静止画

形式	拡張子	フォーマット	カラースペース	サイズ
JPEG	.jpg/.jpeg	Baseline	YUV, RGB,	Max 15360 x 8640

### 動画 (音声が無い動画ファイルは再生できません。)

Media type	拡張子	コンテナ	ビデオ				
			コーデック	最大解像度	最大フレームレート	最大ビットレート	プロファイル
	mp4	MP4	HEVC/H.265	4096x2176	60	100 M	Main/Main10Profile, High Tier @ Level 5.1
	mp4	MP4	H.264	4096x2160	60	135 M	Main Profile and High Profile @ Level5.0
	mp4	MP4	MPEG4	1920x1080	30	40 M	Simple Profile, Advanced Simple and Profile@Level 5 GMC is not supported
	mpg	MPEG	MPEG1	1920x1080	30	20 M	Main Profile
	mpg	MPEG	MPEG2	1920x1080	30	20 M	Main Profile
	mpg	MPEG	MPEG4	1920x1080	30	40 M	Simple Profile, Advanced Simple and Profile@Level 5 GMC is not supported
	avi	AVI	MPEG2	1920x1080	30	20 M	MP@HL
	avi	AVI	MPEG4	1920x1080	30	40 M	Simple Profile, Advanced Simple and Profile@Level 5 GMC is not supported
	avi	AVI	H.264	4096x2160	60	135 M	Main Profile and High Profile @ Level5.0
	avi	Motion JPEG	JPEG	640x480		10 M	
avi	Motion JPEG	JPEG	640x480		10 M		

### 音声

コーデック		サンプリングレート	ビットレート
MP3	MPEG-1 Layer2	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 384 Kbps
	MPEG-1 Layer3	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 320 Kbps
	MPEG-2 Layer3	16 KHz ~ 48 KHz	8 Kbps ~ 320 Kbps
LPCM		8 KHz ~ 48 KHz	64 Kbps ~ 1.5 Mbps
ADPCM		8 KHz ~ 48 KHz	384 Kbps

### 音楽ファイル

拡張子	コンテナ	コーデック	サンプリングレート	ビットレート
mp3	MP3	MPEG-1 Layer2	16KHz ~ 48KHz	8Kbps ~ 384Kbps
		MPEG-1 Layer3		8Kbps ~ 320Kbps
		MPEG-2 Layer3		

### お知らせ

- 上記に記載している再生フォーマットのファイルでも再生できない場合があります。
- 対応していないファイルを USB メモリーに保存していると動作が遅くなることがあります。

## 再生する

### お知らせ

#### MAIN バージョン 1.500 未満

- ファイルは、USB メモリーにコピーした順序にしたがって表示 / 再生されます。再生したい順序にファイルを USB メモリーにコピーしてください

#### MAIN バージョン 1.500 以降

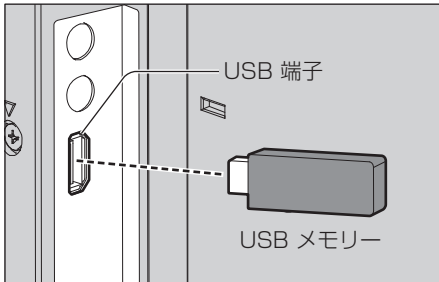
- ファイル名順で再生されます。

### ■再生したいメディアを選ぶ

1. ディスプレイ側面の USB 端子にメディア  
ファイル再生用の USB メモリーを挿入する

### お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。



2. 入力を「USB」に切り換える
3. ◀ / ▶ で再生したいメディアを選び、  
<ENTER> を押す

### ■ファイルの再生

1. 再生したいファイルを表示する

▲▼◀▶ でフォルダーを選び、  
<ENTER> を押し、フォルダー内のファイルを表示させます。

2. 再生したいファイルを選び、<ENTER> を押す

ファイルが選択されます。

複数のファイルを選択できます。違うフォルダーのファイルも選択できます。

3. <再生 (▶)> を押す

選択したファイルが再生されます。

### お知らせ

- 画面モードは「ノーマル」になります。
- ファイルを選択しないで<再生 (▶)>を押すと、フォルダーにあるすべてのファイルが再生されます。
- 「戻る」フォルダーを選ぶと、ルートフォルダーに戻ります。「上へ」フォルダーを選ぶと、次の階層のフォルダーに行きます。
- 音量はリモコンの<VOL +> / <VOL -> と<MUTE> で調整できます。
- 再生中の操作について (P. 52・53 ページ)

### ■再生を止めるには

<EXIT> を押す

## 自動再生

USB メモリーにある静止画や動画を自動で再生できます。(最大 30 ファイル)

### ■準備

ファイルを準備します。「001.jpg」～「030.jpg」のように再生したいファイルに「001～030」をつけてください。

1. USB メモリーのルートフォルダーに「AUTO\_PLAYBACK」という名前のフォルダーを作る
2. 「AUTO\_PLAYBACK」フォルダー内に準備したファイルを保存します。

ファイルの種類を選びます。

1. <MENU> を押し、カーソルボタン <◀/▶> で「初期設定」を選ぶ
2. カーソルボタン <▲/▼> で「自動再生 (USB)」を選ぶ
3. カーソルボタン <◀/▶> でファイルの種類を選ぶ

### ■ファイルの自動再生

#### MAIN バージョン 1.500 未満

あらかじめ USB メモリーを接続しておきます。本機の電源を入れると、自動再生が始まります。

本機の電源を入れたあとでも、USB メモリーを接続できます。自動再生が始まります。

#### MAIN バージョン 1.500 以降

あらかじめ USB 入力に切り換え、USB メモリーを接続しておきます。本機の電源を入れると、自動再生が始まります。

あらかじめ USB メモリーを接続しておきます。USB 入力に切り換えると、自動再生が始まります。

本機の電源を入れたあとでも、USB メモリーを接続できます。自動再生が始まります。

## お知らせ

- 静止画と動画は同時に自動再生できません。
- 自動再生ではファイル名順で再生されます。
- 自動再生は、「AUTO\_PLAYBACK」フォルダーにあるすべての静止画や動画のファイルを繰り返し再生します。
- 静止画の再生時間は、操作バーにある「再生間隔」から選択してください。
- 動画を連続して再生する場合には、動画と動画の間に、1～2秒間の黒画が挿入されます。
- 自動再生中は、<VOL +>/<VOL ->と<EXIT>のみ使用できます。

## ■自動再生を止めるには <EXIT>を押す

## 静止画の再生

### 1 ◀/▶で再生するメディアを選び <ENTER>を押す



### 2 ▲▼◀▶を押して、再生したいファイルを選択する

- ▶ : 選択したファイルを再生
- ENTER : ファイルを選択 (複数選択できます)
- EXIT : メディアの種類を選ぶ画面へ戻る



### 3 <再生 (▶)>を押す

選択した静止画が全画面で表示されます。

## 操作バーについて

<ENTER>を押すと、画面の下に操作バーが表示されます。

◀▶で以下の操作を選び、<ENTER>で実行します。

再生 / 一時停止	スライドショーの開始 再生の一時停止
前へ	前のファイルに戻る
次へ	次のファイルへ進む
停止	スライドショーの停止
Repeat all /	Repeat all -
Repeat none /	フォルダー内のファイルまたは
Repeat 1	選択したすべてのファイル (選択して再生リストを作成) を繰り返し再生します。
	Repeat none -
	メニューの中のファイルを選んで再生を始めたあと、同じフォルダーにあるファイルを最後まで一度再生します。
	Repeat 1 -
	メニューで選んだ一つのファイルを繰り返し再生します。

ランダム再生オン / ランダム再生オフ  
ランダム再生オンにすると、ランダムに全ファイルの再生を繰り返します。

音楽オフ / 音楽オン  
音楽オンを選ぶと、同じフォルダーにある静止画と音楽のファイルを同時に再生します。

再生リスト  
再生リストを表示します。  
情報  
ファイルの情報を表示します。  
回転  
時計回りに 90° 回転します。

回転  
反時計回りに 90° 回転します。

ズームイン  
ファイルを拡大します。  
ズームアウト  
ファイルを縮小します。  
移動  
拡大した静止画の可視領域を移動します。

再生間隔  
スライドショーの時間を設定します。

## 音楽 / 動画の再生

### 1 ◀/▶ で再生するメディアを選び <ENTER> を押す



### 2 ▲▼◀▶ を押して、再生したいファイルを選択する

- ▶ : 選択したファイルを再生
- ENTER : ファイルを選択 (複数選択できます)
- EXIT : メディアの種類を選ぶ画面へ戻る



### 3 <再生 (▶)> を押す

選択した動画が全画面で表示されます。

#### お知らせ

- 音楽再生中は、音楽アイコンが画面に表示されます。

#### 操作バーについて

<ENTER> を押すと、画面の下に操作バーが表示されます。

◀▶ で、以下の操作を選び、<ENTER> で実行します。

再生 / 一時停止	音楽 / 動画の再生開始 再生の一時停止
FB	早戻し FB2X / FB4X / FB8X / FB16X / (動画のみ) FB32X
FF	早送り FF2X / FF4X / FF8X / FF16X / (動画のみ) FF32X

前へ	前のファイルに戻る 動画再生中は、1 回押すと最初から再生します。
次へ	次のファイルへ進む
停止	再生の停止
Repeat all /	Repeat all -
Repeat none /	フォルダー内のファイルまたは
Repeat 1	選択したすべてのファイル (選択して再生リストを作成) を繰り返し再生します。
	Repeat none -
	メニューの中のファイルを選んで再生を始めたあと、同じフォルダーにあるファイルを最後まで一度再生します。
	Repeat 1 -
	メニューで選んだ一つのファイルを繰り返し再生します。
ランダム再生オン /	ランダム再生オンにすると、ランダムに全ファイルの再生を繰り返します。
ランダム再生オフ	
Set A /	Set A -
Set B /	開始点を設定します。
None	Set B -
	終了点を設定します。
再生リスト	再生リストを表示します。
情報	ファイルの情報を表示します。

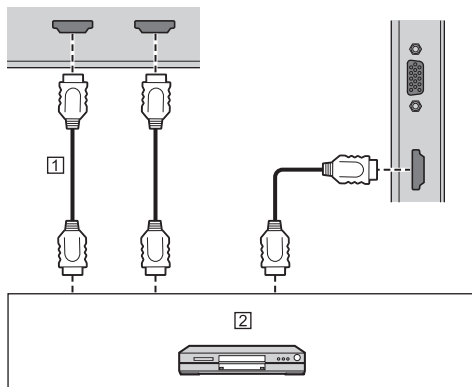
リモコンのナビゲーションボタン <◀◀, II, ▶, ▶▶> とカーソルボタン <◀/▶> でもファイルを操作できます。

# HDMI-CEC 機能を使う

HDMI-CEC 機能は、本機と HDMI-CEC 対応機器の連動制御により、本機のリモコンのみで HDMI-CEC 対応機器の基本操作を可能にする機能であり、また、HDMI-CEC 対応機器のリモコン（あるいは本体のボタン）のみで、本機の電源オフ/オンと入力切り換えを可能にする機能です。

## 接続例

HDMI IN 1、HDMI IN 2 または HDMI IN 3 端子に HDMI-CEC 対応機器を接続します。



- ① HDMI ケーブル（市販品）
- ② DVD レコーダー / DVD プレーヤー、Blu-ray レコーダー / Blu-ray プレーヤー

## 設定

- ① 接続した機器側（HDMI-CEC 対応機器）で、本機能が動作するように設定します。
- ② 「HDMI-CEC 制御」を「オン」にします。（ 36 ページ）
- ③ すべての機器の電源を入れ、本機の電源を切 / 入したあと、HDMI1、HDMI2 または HDMI3 入力で映像が正しく映ることを確認してください。

# データクローニングを使う

## MAIN バージョン 1.500 以降

1 台のディスプレイのメニュー設定や調整値を、USB メモリーを使用して、複数台のディスプレイにコピーできます。

### お知らせ

- ディスプレイのインチサイズが異なる場合、クローニング機能は動作しません。共通のインチサイズ間でご利用ください。
- クローニングパスワードは、「クローニングパスワード」で設定したパスワードです。
- 工場出荷時の初期パスワードは、「0000」です。

### ■ コピーできるデータ

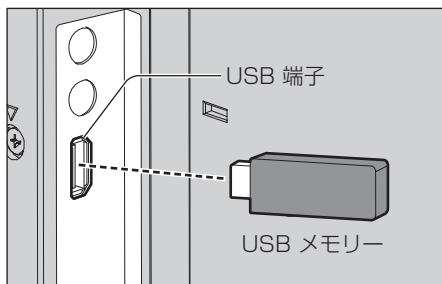
「画質の調整」「音声の調整」「初期設定」メニューの設定、調整値

- 次のデータはコピーされません。ディスプレイごとに設定してください。

「初期設定」 - 「日付と時刻」  
「初期設定」 - 「ネットワーク設定」  
「初期設定」 - 「オプション設定」  
Web ページによる設定内容

## ディスプレイのデータを USB メモリーにコピー

### 1 ディスプレイ側面の USB 端子に USB メモリーを挿入する



### お知らせ

- USB メモリーのタイプによってはバックカバーなど周辺部に接触して取り付けられない場合があります。本機に接続可能な USB メモリーをご使用ください。

### 2 <MENU> と ▶ を押して「初期設定」メニュー画面を表示する

3 ▲▼で「オプション設定」を選び、  
<ENTER> を押す

以下のような画面が表示されます。



4 ▲▼で「USB データクローニング」  
を選び、<ENTER> を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

5 数字ボタン<0～9>でクローニングパ  
スワードを入力する

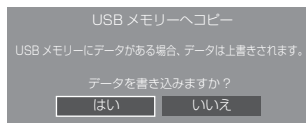
コピータイプ選択画面が表示されます。

6 ▲▼で「ディスプレイ → USB メモ  
リー」を選び、<ENTER> を押す



7 ◀▶で「はい」を選び、<ENTER> を  
押す

USB メモリーへのデータコピーが開始します。



データコピーが終わると表示します。



8 データコピーが終わったら USB 端子か  
ら USB メモリーを抜き取る

USB メモリーのデータをディスプレイ  
にコピー (クローニング)

1 データコピーするディスプレイの USB  
端子に、データコピー後の USB メモリー  
を挿入する (前記の手順 1 と同じ)

2 <MENU> と ▶ を押して「初期設定」  
メニュー画面を表示する

3 ▲▼で「オプション設定」を選び、  
<ENTER> を押す

以下のような画面が表示されます。



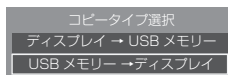
4 ▲▼で「USB データクローニング」  
を選び、<ENTER> を押す

クローニングパスワード画面が表示されます。

5 数字ボタン<0～9>でクローニングパ  
スワードを入力する

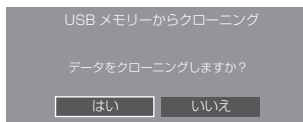
コピータイプ選択画面が表示されます。

6 ▲▼で「USB メモリー → ディスプレ  
イ」を選び、<ENTER> を押す

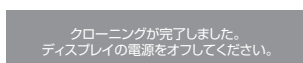


7 ◀▶で「はい」を選び、<ENTER> を  
押す

ディスプレイへのデータクローニングが開始します。



データクローニングが終わると表示します。



8 データクローニングが終わったら USB  
端子から USB メモリーを抜き取る

9 本体の電源を「切」にした後「入」にする、  
または電源プラグをコンセントから一旦  
抜き、30 秒以上空けてから電源プラグ  
を挿してください

クローニングした内容がディスプレイに反映されます。

## クローニングパスワードを変更する

クローニング機能を使用するときに必要なクローニングパスワードを変更します。

- 1 <MENU> と ▶ を押して「初期設定」メニュー画面を表示する
- 2 ▲ ▼ で「オプション設定」を選び、<ENTER> を押す

以下のような画面が表示されます。



- 3 ▲ ▼ で「クローニングパスワード」を選び、<ENTER> を押す  
クローニングパスワード画面が表示されます。
- 4 数字ボタン <0 ~ 9> で現在のクローニングパスワードを入力する
- 5 数字ボタン <0 ~ 9> で新しいクローニングパスワードを入力する
- 6 確認のために、数字ボタン <0 ~ 9> で再度新しいクローニングパスワードを入力する

### お知らせ

- 工場出荷時の初期パスワードは、「0000」です。
- パスワードは定期的に変更し、推測されにくいものにしてください。

## 本機のソフトウェアについて

この取扱説明書に記載の機能は、ソフトウェアのバージョンによって対応が異なります。

以下のバージョンでは、これらの機能をご利用できません。

### MAIN 1.500 未満

- ① オンスクリーン表示
- ② マルチ画面設定
- ③ USB データクローニング
- ④ ログ出力

### MAIN 1.500 未満、LAN 1.50 未満

- ① Crestron Connected™

ソフトウェアのバージョンは、「初期設定」の「情報」で確認できます。(☞ 40 ページ)

# プリセット信号

本機が表示できる映像信号は下表のとおりです。

- プラグアンドプレイ対応信号欄内 HDMI 信号の内容は次のとおりです。

1: 4K/60p, 2: 4K/30p

対応信号	解像度 (ドット)	走査周波数		ドット クロック 周波数 (MHz)	フォー マット *2	プラグアンドプレイ 対応信号 *4		
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)			HDMI		PC *5
						EDID 1	EDID 2	
480/60i	720 (1 440) x 480i*1	15.73	59.94	27.00	H	○	○	
576/50i	720 (1 440) x 576i*1	15.63	50.00	27.00	H	○	○	
480/60p	720 x 480	31.47	59.94	27.00	H	○	○	
576/50p	720 x 576	31.25	50.00	27.00	H	○	○	
720/60p	1 280 x 720	45.00	60.00	74.25	H	○	○	
720/50p	1 280 x 720	37.50	50.00	74.25	H	○	○	
1080/60i	1 920 x 1 080i	33.75	60.00	74.25	H	○	○	
1080/50i	1 920 x 1 080i	28.13	50.00	74.25	H	○	○	
1080/24p	1 920 x 1 080	27.00	24.00	74.25	H	○	○	
1080/25p	1 920 x 1 080	28.13	25.00	74.25	H	○	○	
1080/30p	1 920 x 1 080	33.75	30.00	74.25	H	○	○	
1080/60p	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	H	○	○	
1080/50p	1 920 x 1 080	56.25	50.00	148.50	H	○	○	
3840 x 2160/24p	3 840 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H	○	○	
3840 x 2160/25p	3 840 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H	○	○	
3840 x 2160/30p	3 840 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H	○	○	
3840 x 2160/60p	3 840 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H	○		
3840 x 2160/50p	3 840 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H	○		
4096 x 2160/24p	4 096 x 2 160	54.00	24.00	297.00	H	○	○	
4096 x 2160/25p	4 096 x 2 160	56.25	25.00	297.00	H	○	○	
4096 x 2160/30p	4 096 x 2 160	67.50	30.00	297.00	H	○	○	
4096 x 2160/60p	4 096 x 2 160	135.00	60.00	594.00	H	○		
4096 x 2160/50p	4 096 x 2 160	112.50	50.00	594.00	H	○		
640 x 480/60	640 x 480	31.47	59.94	25.18	R/H	○	○	○
800 x 600/60	800 x 600	37.88	60.32	40.00	R/H	○	○	○
1024 x 768/60	1 024 x 768	48.36	60.00	65.00	R/H	○	○	○
1280 x 720/60	1 280 x 720	44.76	60.00	74.48	R/H	○	○	○
1280 x 800/60	1 280 x 800	49.70	59.81	83.50	R/H	○	○	○
1280 x 960/60	1 280 x 960	60.00	60.00	108.00	H	○	○	
1280 x 1024/60	1 280 x 1 024	63.98	60.02	108.00	R/H	○	○	○
1280 x 1024/75	1 280 x 1 024	79.98	75.02	135.00	R/H	○	○	○
1360 x 768/60	1 360 x 768	47.71	60.02	85.50	H		○	
1400 x 1050/60	1 400 x 1 050	65.32	59.98	121.75	H	○	○	
1440 x 900/60	1 440 x 900	55.94	59.89	106.50	R/H	○	○	○
1600 x 900/60	1 600 x 900*3	60.00	60.00	108.00	H	○	○	
1600 x 1200/60	1 600 x 1 200	75.00	60.00	162.00	R/H	○	○	○
1680 x 1050/60	1 680 x 1 050	65.29	59.95	146.25	H	○	○	
1920 x 1080/60	1 920 x 1 080	67.50	60.00	148.50	R/H	○	○	○
1920 x 1200/60	1 920 x 1 200*3	74.04	59.95	154.00	R/H	○	○	○
720 x 400/70	720 x 400	31.50	70.00	28.30	R/H	○	○	○

\*1: Pixel-Repetition 信号（ドットクロック周波数 27.0MHz）のみ

\*2: フォーマットを表す記号は以下の通りです。

R :D-sub RGB (PC IN)

H: HDMI (HDMI IN 1, HDMI IN 2, HDMI IN 3)

\*3: VESA CVT-RB (Reduced Blanking) 準拠

\*4: プラグアンドプレイ対応信号欄に○がある信号は、本機の EDID（拡張ディスプレイ識別データ）に記述している信号です。

プラグアンドプレイ対応信号欄に○がない信号は、本機が対応していてもパソコン側で解像度の選択ができない場合があります。

\*5: 同期信号は、HD/V/D 信号入力のみに対応しています。

#### お知らせ

- 自動判別した信号フォーマットが、実入力信号と異なった表示になる場合があります。
- 解像度のドット数の後ろにある「i」はインターレース信号を意味します。

# 修理を依頼される前に…

こんなとき	ここをお調べください	参 照 ページ
画面に光らない点や明るい点がある	● 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られています。画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。これは故障ではありません。	—
電源が入らない	● コンセントまたは本機から電源プラグやコネクタが外れていませんか。	15
電源が自動的に切れる	● 「パワーマネージメント」が「オン」に設定されていませんか。	38
電源ランプが橙色点滅する	● 温度の異常（高温）が検出されています。周囲環境を見直してください。	—
リモコンで操作できない	● 電池が消耗していませんか。電池は正しく入っていますか。	—
	● リモコン受信部に外光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか。	—
	● リモコン受信部とリモコン間に障害物はありませんか。	24
	● 本機専用のリモコンを使用していますか。（他のリモコンでは動作しません）	—
	● 「リモコンロック」設定を「ロックしない」以外にしていませんか。	38
映像が出るまでに時間がかかる	● 本機は美しい映像を再現させるため各種信号をデジタル処理しておりますので、電源を入れたとき、入力を切り換えたときに映像が出るまでに少し時間がかかる場合があります。	—
映像が不安定になる	● 互換性のない信号かもしれません。 ● PC 入力を使用しているときは、自動調整機能を使用してみてください。	—
画面にはん点が出る	● 自動車・電車・高圧線・ネオンなどからの妨害電波を受けている可能性があります。	—
色が薄い	● 色の濃さの調整がずれていませんか。（映像の調整値をご確認ください。）	31
色模様が出たり 色が消える	● 他の映像機器から影響（妨害電波）を受けていませんか。 本機の設置場所を変えると良化することもあります。	—
画面の上または下が欠ける	● 映像の画面位置調整をずらしたままになっていませんか。 画面位置の調整をしてください。	37
画面の上下に映像の出ない部分ができる	● 16:9 より横長の映像ソフト（シネマサイズのソフトなど）のときは、画面の上下に映像のない部分ができることがあります。	—
映像の輪郭がチラチラする	● 液晶パネルの駆動方式による特性上、動きのある映像部分で輪郭がチラチラするように見えることがあります。故障ではありません。	—
本体のボタンで操作できない	● 「本体ボタンロック」設定を「ロックしない」以外にしていませんか。	38
映像、音声が出ないことがある	● HDMI 信号をセレクトや分配器を通して本機に入力した場合、使用する機器によっては映像と音声の出力が正常に行われず場合があります。本機の電源を入れ直すまたは、セレクトや分配器の交換を行うと症状が改善する場合があります。	—
映像が出ないなど表示がおかしい、または急にリモコンが操作できなくなった	● 本機には非常に高度なソフトウェアが組み込まれております。万一「リモコンが操作できない」「表示が乱れる」など、何かおかしいと感じられたときは、電源プラグをコンセントから抜き、約 5 秒以上後に再度電源プラグを差し込み、電源を入れてください。	24
HDMI 入力からの映像がおかしい	● 4K をサポートしている HDMI ケーブルかどうか確認してください。 ● 本機と互換がある信号か確認してください。 ● 接続している機器が 4K をサポートしていない場合は「EDID 選択」を「4K/30p」に設定してください。	—
PC 入力からの映像がおかしい	● パソコンの設定が正しいかどうか確認してください。 ● 本機と互換がある入力信号かどうか確認してください。	—

こんなとき	ここをお調べください	参照ページ
RS-232C 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続は正しく行われていますか。</li> <li>● 「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」が「SERIAL IN」になっていますか。</li> </ul>	20 34
LAN 制御ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 接続は正しく行われていますか。</li> <li>● コマンドコントロールで制御する場合は、「ネットワーク設定」の「SERIAL IN/LAN 選択」が「LAN」になっていますか。</li> <li>● 「LAN 設定」は正しく設定されていますか。</li> <li>● 「ネットワーク設定」および Web ページにおけるネットワーク設定で、ご使用になる LAN 制御が正しく設定されていますか。</li> <li>● 「クイック起動」を「オン」に設定していても、停電など AC 電圧の切断があった場合は、起動後 LAN 制御が可能になるまで時間がかかります。</li> </ul>	41 34 34 34 39
LAN 制御のパワーオンコマンドが送信されているのに電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「スタンバイ時電力低減設定」が「有効」であれば、「無効」に設定してください。</li> </ul>	38
コンテンツ再生開始直後に音声が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再生開始後 0 秒から音声再生されるコンテンツを使用する場合、使用する機器によっては再生開始直後の音声が出ない場合があります。再生機器を交換するか、コンテンツ側の音声開始を 300 ms 遅らせることで症状が改善する場合があります。</li> </ul>	—

# 保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

## 修理を依頼されるとき

59 ページ「修理を依頼される前に…」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

### ● 保証期間中は

保証書の規定に従って出張修理をさせていただきます。

### ● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

下記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

### ● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

**技術料** は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

**部品代** は、修理に使用した部品および補助材料代です。

**出張料** は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

### ■ 保証書

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

よくお読みのあと、保存してください。

### ■ 補修用性能部品の保有期間

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、この液晶ディスプレイの補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### ■ 修理を依頼されるときご連絡いただきたい内容

ご氏名・ご住所・電話番号

製品名・品番・お買い上げ日

故障または異常の内容

訪問ご希望日

■ 使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック 業務用ディスプレイサポートセンター

電話 フリーダイヤル  **0120-872-002**  
※携帯電話からもご利用いただけます。

営業時間：月～金（祝日と弊社休業日を除く）  
9:00～17:30（12:00～13:00は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは

[https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays\\_support](https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays_support)

ご使用の回線(IP 電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

## ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについて

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# 仕様

## 本体

品番	TH-86FQ1J (86V型) <sup>*1</sup>	TH-75FQ1J (75V型) <sup>*1</sup>
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10% 50 Hz / 60 Hz	
	5.0 A	3.2 A
消費電力	336 W <sup>*2</sup>	217 W <sup>*2</sup>
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ：φ 30 mm × 2 2個	
液晶ディスプレイ パネル	ADS パネル (Direct LED バックライト)	
	86V型 <sup>*1</sup> (アスペクト比 16 : 9)	75V型 <sup>*1</sup> (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅 1 895.0 mm	幅 1 649.6 mm
	高さ 1 065.9 mm	高さ 927.9 mm
	対角 2 174.2 mm	対角 1 892.7 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度：0℃～40℃ <sup>*3</sup> 湿度：20%～80% (結露のないこと)	
稼働時間	18 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクター <sup>*4</sup> × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力：可変 (-∞～0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5V/2.0 A	
外形寸法	幅 1 929 mm	幅 1 684 mm
	高さ 1 100 mm	高さ 962 mm
	奥行 96 mm (取っ手を除く：70 mm)	奥行 96 mm (取っ手を除く：70 mm)
質量	約 46.0 kg	約 35.6 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	

品番	TH-65FQ1J (65V型) *1	TH-55FQ1J (55V型) *1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
	2.7 A	2.1 A
消費電力	184 W *2	142 W *2
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ: φ 30 mm × 2 2個	
液晶ディスプレイ パネル	ADS パネル (Direct LED バックライト)	VA パネル (Direct LED バックライト)
	65 V 型 *1 (アスペクト比 16 : 9)	55 V 型 *1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅: 1 428.4 mm	幅: 1 209.6 mm
	高さ: 803.5 mm	高さ: 680.4 mm
	対角: 1 638.9 mm	対角: 1 387.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度: 0 °C ~ 40 °C *3 湿度: 20 % ~ 80 % (結露のないこと)	
稼働時間	18 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクタ *4 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数: 48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力: 可変 (-∞ ~ 0 dB) (1 kHz 0 dB 入力, 10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式: RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5V/2.0 A	
外形寸法	幅: 1 463 mm	幅: 1 242 mm
	高さ: 838 mm	高さ: 713 mm
	奥行: 94 mm (取っ手を除く: 69 mm)	奥行: 66 mm
質量	約 27.1 kg	約 15.6 kg
キャビネット材質	金属 (前面、バックカバー)	金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)

品番	TH-50FQ1J (50V型) ※1	TH-43FQ1J (43V型) ※1
種類	UHD 液晶ディスプレイ	
使用電源	AC100 V ± 10 % 50 Hz / 60 Hz	
	1.8 A	1.4 A
消費電力	119 W※2	93 W※2
	リモコンで電源「切」時 約 0.5 W	
音声実用最大出力	20 W (10 W + 10 W) JEITA	
スピーカー	フルレンジ：φ 30 mm × 2 2個	
液晶ディスプレイ パネル	VA パネル (Direct LED バックライト)	ADS パネル (Direct LED バックライト)
	50 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)	43 V 型※1 (アスペクト比 16 : 9)
画面寸法	幅：1 095.8 mm	幅：941.1 mm
	高さ：616.4 mm	高さ：529.4 mm
	対角：1 257.3 mm	対角：1 079.8 mm
画素数	8 294 400 画素 (水平 3 840 × 垂直 2 160)	
動作使用条件	温度：0℃～40℃※3 湿度：20%～80% (結露のないこと)	
稼働時間	18 時間 / 日	
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクタ※4 × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)	
パソコン入力端子 PC IN	ミニ D-sub 15 ピン (DDC2B 対応) × 1	
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) × 1 0.5 V [rms]	
音声出力端子 AUDIO OUT	RCA ピンジャック × 2 0.5 V [rms] 出力：可変 (-∞～0 dB) (1 kHz 0 dB 入力、10 k Ω 負荷時)	
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御用端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠	
LAN 端子 LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX	
USB 端子 USB	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5V/2.0 A	
外形寸法	幅：1 129 mm	幅：973 mm
	高さ：649 mm	高さ：562 mm
	奥行：66 mm	奥行：65 mm
質量	約 13.5 kg	約 10.7 kg
キャビネット材質	金属 (前面)、樹脂 (バックカバー)	

## リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 91 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：27 mm 奥行：190 mm

※ 1 ディスプレイの V 型は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

※ 2 工場出荷設定時

※ 3 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 4 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社（パナソニック プロジェクター&ディスプレイ）が独自に開発したソフトウェア
  - (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター&ディスプレイにライセンスされたソフトウェア
  - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

# 商標について

---

- PressIT はパナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PJLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録または出願商標です。
- 米国でご使用の場合：  
Crestron<sup>®</sup>、Crestron Connected<sup>®</sup>、Crestron Connected ロゴ、XiO Cloud<sup>®</sup> は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。  
Crestron Connected<sup>®</sup> software は Crestron Electronics, Inc. が所有し、Crestron XiO Cloud<sup>®</sup> Service と互換性があります。
- 米国以外でご使用の場合：  
Crestron、Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、XiO Cloud は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。  
Crestron Connected software は Crestron Electronics, Inc. が所有し、Crestron XiO Cloud Service と互換性があります。

**CRESTRON  
CONNECTED**

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

## ■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



これらのシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。



### 警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番
	販売店名	☎ ( ) -	お客様ご相談窓口 ☎ ( ) -

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2026